

平成22年度

新宿区区民意識調査

要約版

平成23年3月
新宿区

はじめに

新宿区では、基本構想に掲げる『新宿力』*で創造するやすらぎとにぎわいのまちの実現をめざし、さまざまな施策を実施しています。

施策を進めるうえで、区民の皆さまのご意見・ご要望を的確に把握していくことが必要です。そのため、区では、意識調査をはじめ、対話集会やモニター制度、区長へのはがきなどの広聴活動を行っています。

今回の意識調査では、「生活における心配事」「区の情報発信全般」「窓口サービスの利用状況」「高齢者相談」「認知症になっても安心して暮せるまち」などについてお聴きしました。

この調査の結果については、よりよい区政運営のための基礎資料として活用してまいります。

併せて、この調査報告書を多くの地域の皆さまに参考としてご活用いただければ幸いです。

おわりに、この調査にご協力くださいました区民の皆さまに、心よりお礼申し上げます。

平成23年3月

新宿区区長室広聴担当課

(*)『新宿力』とは、新宿区に住む人々はもとより、新宿区で働き、学び、活動する多くの人々による「自分たちのまちは、自分たちで担い、自分たちで創りあげたい」という、自治の力を象徴的に表したものです。

目 次

調査実施の概要	2
調査回答者の属性	3
調査結果の分析	
1 居住意向	1 0
2 生活における心配事	1 1
3 区政への関心	1 4
4 区政への要望	1 6
5 選挙	1 8
6 「新宿区公式ホームページ」の利用	1 9
7 ケーブルテレビを活用した広報番組	2 0
8 「広報しんじゅく」の利用	2 1
9 区の情報発信全般	2 2
10 窓口サービスの利用状況	2 4
11 高齢者相談	2 5
12 認知症になっても安心して暮せるまち	2 7

要約版の見方

- (1) 集計は、小数点第 2 位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数 (n) は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (5) この区民意識調査では、統計数値を考察するにあたり、表現を以下のとおりとしている。

例	表現
80.1 ~ 80.9%	約 8 割
81.0 ~ 82.9%	8 割強
83.0 ~ 84.9%	8 割台半ば近く
85.0 ~ 85.9%	8 割台半ば

例	表現
86.0 ~ 87.9%	8 割台半ばを超え
88.0 ~ 88.9%	9 割近く
89.0 ~ 89.9%	9 割弱

- (6) この区民意識調査の結果をみる場合に、考慮すべき統計上の誤差がある。考慮すべき誤差 (標本誤差) の大きさは、「回答者数 (標本数) が少ないほど大きく」、また、「回答比率が低いほど大きく」なる。(詳細は、報告書参照)

調査実施の概要

1 調査目的

新宿区の区政運営の基本となる重要な課題に対する区民の意向・要望及び区民の生活意識等を把握し、今後の区政運営に反映させるための基礎資料とする。

2 調査設計

- (1) 調査地域 新宿区全域
- (2) 調査対象 新宿区在住の満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 2,500人
- (4) 標本抽出 住民基本台帳からの層化抽出法による無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法（郵送配布 - 郵送回収・はがきによる再依頼を1回）
- (6) 調査期間 平成22年9月17日（金）～10月8日（金）
（調査期間後に郵送回収した調査票については、できる限り調査に反映させた）
- (7) 調査機関 株式会社 都市計画 2 1

3 回収結果

- (1) 標本数 2,500人
- (2) 有効回収数 1,325人
- (3) 有効回収率 53.0%

4 調査内容

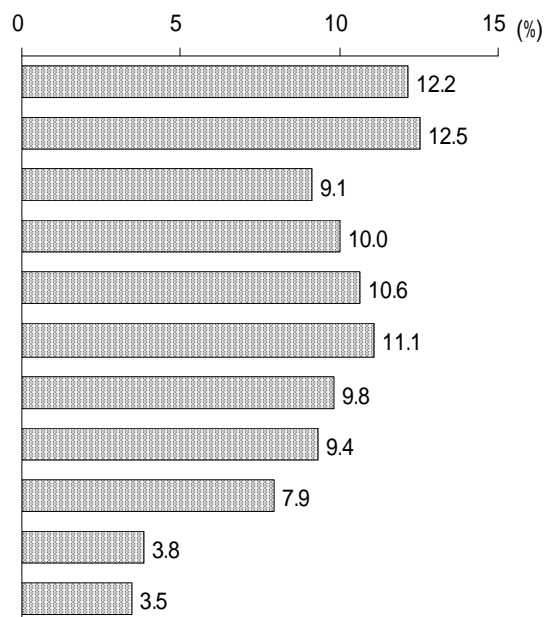
平成22年度 新宿区区民意識調査は、次の項目について調査した。

	< 調査項目 >	< 問番号 >
経年調査項目	<ul style="list-style-type: none">・居注意向・生活における心配事・区政への関心・区政への要望・選挙	(問1～問2-1) (問3) (問4～問4-2) (問5) (問6～問6-2)
特集調査項目	<ul style="list-style-type: none">・「新宿区公式ホームページ」の利用・ケーブルテレビを活用した広報番組・「広報しんじゅく」の利用・区の情報発信全般・窓口サービスの利用状況・高齢者相談・認知症になっても安心して暮せるまち	(問7～問9) (問10～問14) (問15～問17) (問18～問23) (問24～問26) (問27～問32) (問33～問36-1)

調査回答者の属性

1 居住地域別

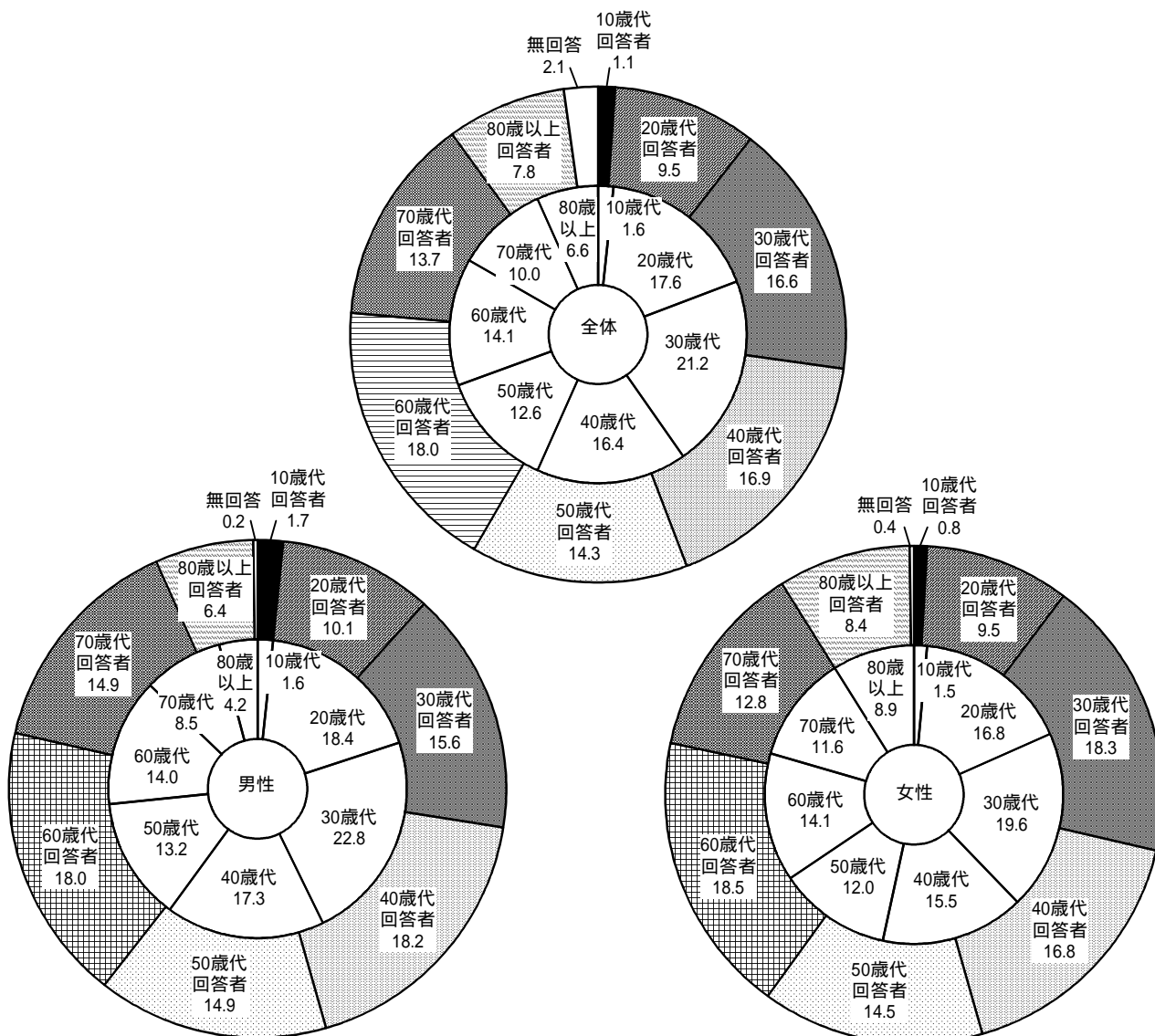
	基数(人)	構成比(%)
1 四谷	161	12.2
2 簞笥町	166	12.5
3 榎町	121	9.1
4 若松町	133	10.0
5 大久保	141	10.6
6 戸塚	147	11.1
7 落合第一	130	9.8
8 落合第二	124	9.4
9 柏木	105	7.9
10 角筈・区役所	51	3.8
(無回答)	46	3.5
合計	1,325	100.0



2 性別・年代別

	全体		男性 (%)		女性 (%)	
	基数 (人)	構成比 (%)	基数 (人)	構成比 (%)	基数 (人)	構成比 (%)
1 10歳代	15	1.1	9	1.7	6	0.8
2 20歳代	126	9.5	55	10.1	70	9.5
3 30歳代	220	16.6	85	15.6	135	18.3
4 40歳代	224	16.9	99	18.2	124	16.8
5 50歳代	189	14.3	81	14.9	107	14.5
6 60歳代	238	18.0	98	18.0	136	18.5
7 70歳代	181	13.7	81	14.9	94	12.8
8 80歳以上	104	7.8	35	6.4	62	8.4
(無回答)	28	2.1	1	0.2	3	0.4
総 数	1,325	100.0	544	100.0	737	100.0

性別で無回答が44人いるため、男女の人数を足し合わせても「全体」の人数と一致しない。

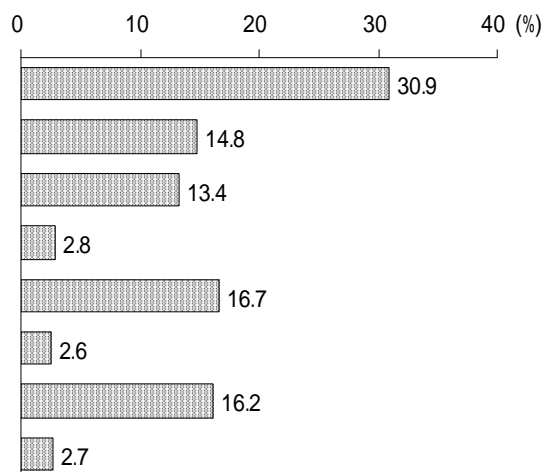


内円は母集団18歳以上の人口 (N=239,178) の構成比、外円は調査回答者 (n=1,325) の構成比を示しています。

3 職業別

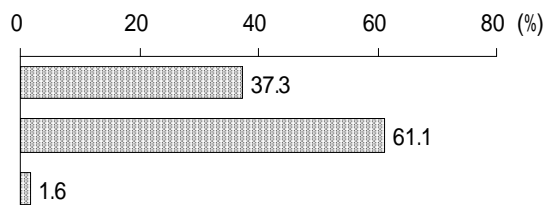
(1) 職業

	基数(人)	構成比(%)
1 会社員、公務員、団体職員	410	30.9
2 パート・アルバイト・非常勤・嘱託・派遣など	196	14.8
3 自営業・自由業	177	13.4
4 学生	37	2.8
5 専業主婦・主夫	221	16.7
6 その他	34	2.6
7 無職	214	16.2
(無回答)	36	2.7
合計	1,325	100.0



(2) 職場や学校の所在地別

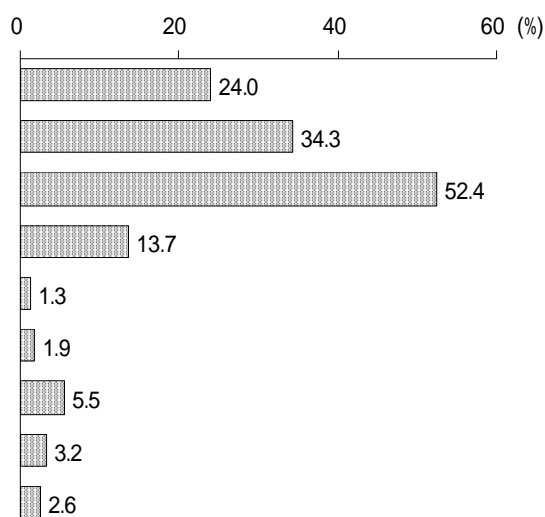
	基数(人)	構成比(%)
1 新宿区内	306	37.3
2 新宿区外	501	61.1
(無回答)	13	1.6
合計	820	100.0



4 家族及びライフステージ別

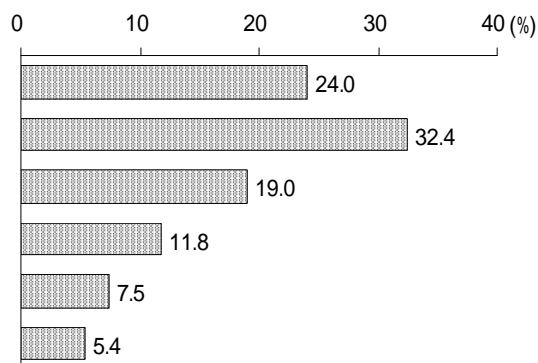
(1) 家族形態及び家族数

	基数(人)	構成比(%)
1 ひとり暮らし	318	24.0
2 子	454	34.3
3 妻または夫	694	52.4
4 親	181	13.7
5 祖父母	17	1.3
6 孫	25	1.9
7 兄弟姉妹	73	5.5
8 その他	42	3.2
(無回答)	34	2.6
合計	1,325	100.0



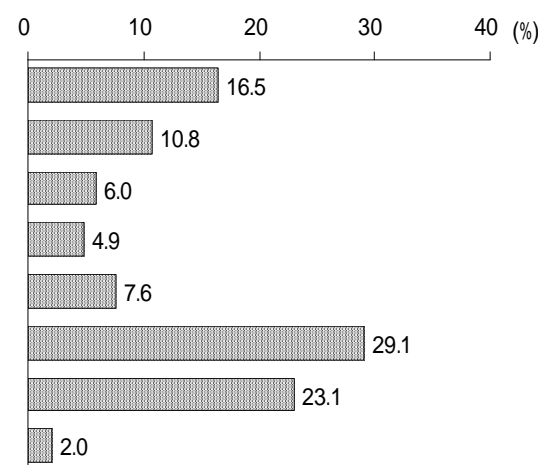
(2) 同居者数

	基数(人)	構成比(%)
1 ひとり暮らし	318	24.0
2 2人	429	32.4
3 3人	252	19.0
4 4人	156	11.8
5 5人以上	99	7.5
(無回答)	71	5.4
合計	1,325	100.0



(3) ライフステージ別

	基数(人)	構成比(%)
1 独身期	219	16.5
2 家族形成期	143	10.8
3 家族成長前期	79	6.0
4 家族成長後期	65	4.9
5 家族成熟期	101	7.6
6 高齢期	385	29.1
7 その他	306	23.1
(無回答)	27	2.0
合計	1,325	100.0



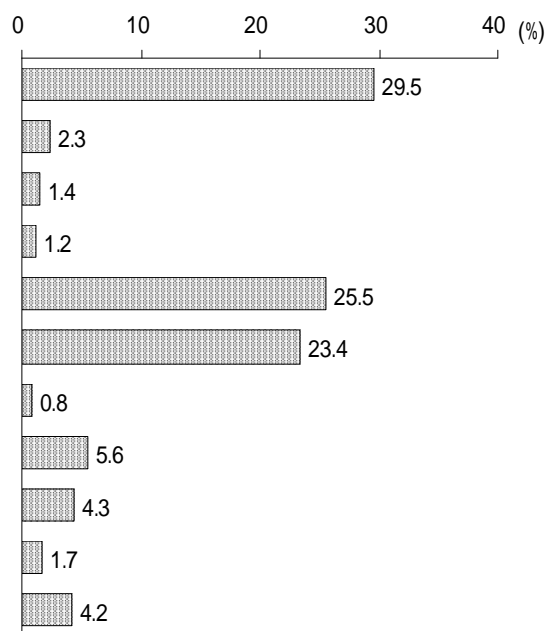
(注) ライフステージの名称及び内容は以下のとおりである。

- 独身期 -----40歳未満の独身者
- 家族形成期 -----子どものいない40歳未満の夫婦、または一番上の子どもが入学前の人
- 家族成長前期 -----一番上の子どもが小・中学生の人
- 家族成長後期 -----一番上の子どもが高校・大学生の人
- 家族成熟期 -----64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
- 高齢期 -----65歳以上の人
- その他 -----40歳から64歳の独身者、子どものいない40歳から64歳の夫婦など

5 住居の形態別

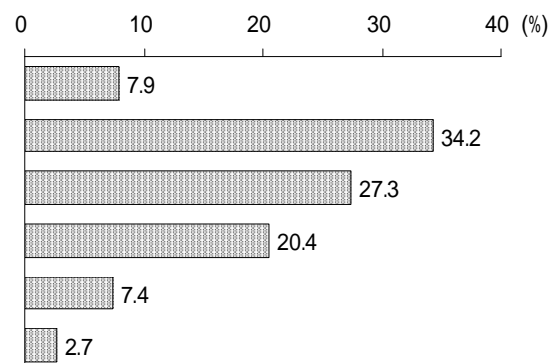
(1) 住居の形態

	基数(人)	構成比(%)
1 一戸建て(持ち家)	391	29.5
2 賃貸の一戸建て	31	2.3
3 社宅・公務員官舎の一戸建て	19	1.4
4 一戸建て その他	16	1.2
5 分譲マンション・アパート	338	25.5
6 賃貸マンション・アパート	310	23.4
7 賃貸のUR都市機構(旧公団)・ 公社のマンション・アパート	11	0.8
8 賃貸の都営・区営住宅	74	5.6
9 社宅・公務員官舎	57	4.3
10 集合住宅 その他	22	1.7
(無回答)	56	4.2
合計	1,325	100.0



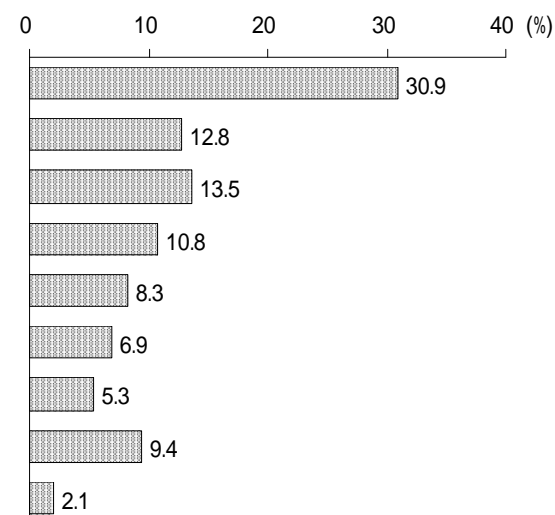
(2) 集合住宅の階数

	基数(人)	構成比(%)
1 1~2階	64	7.9
2 3~5階	278	34.2
3 6~10階	222	27.3
4 11~14階	166	20.4
5 15階以上	60	7.4
(無回答)	22	2.7
合計	812	100.0



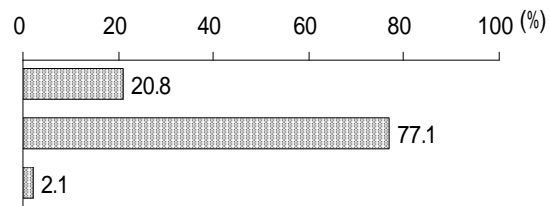
(3) 集合住宅の総戸数

	基数(人)	構成比(%)
1 20戸以下	251	30.9
2 21~30戸	104	12.8
3 31~50戸	110	13.5
4 51~75戸	88	10.8
5 76~100戸	67	8.3
6 101~150戸	56	6.9
7 151~200戸	43	5.3
8 201戸以上	76	9.4
(無回答)	17	2.1
合計	812	100.0



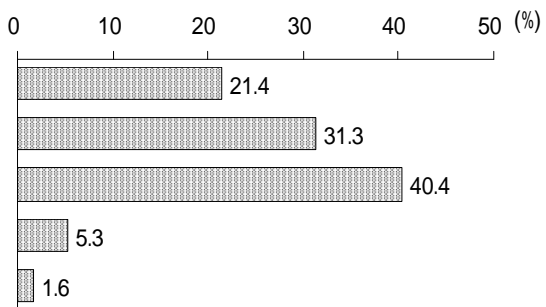
(4) ワンルーム

	基数(人)	構成比(%)
1 はい	169	20.8
2 いいえ	626	77.1
(無回答)	17	2.1
合計	812	100.0



(5) 集合住宅の場合の管理人態勢

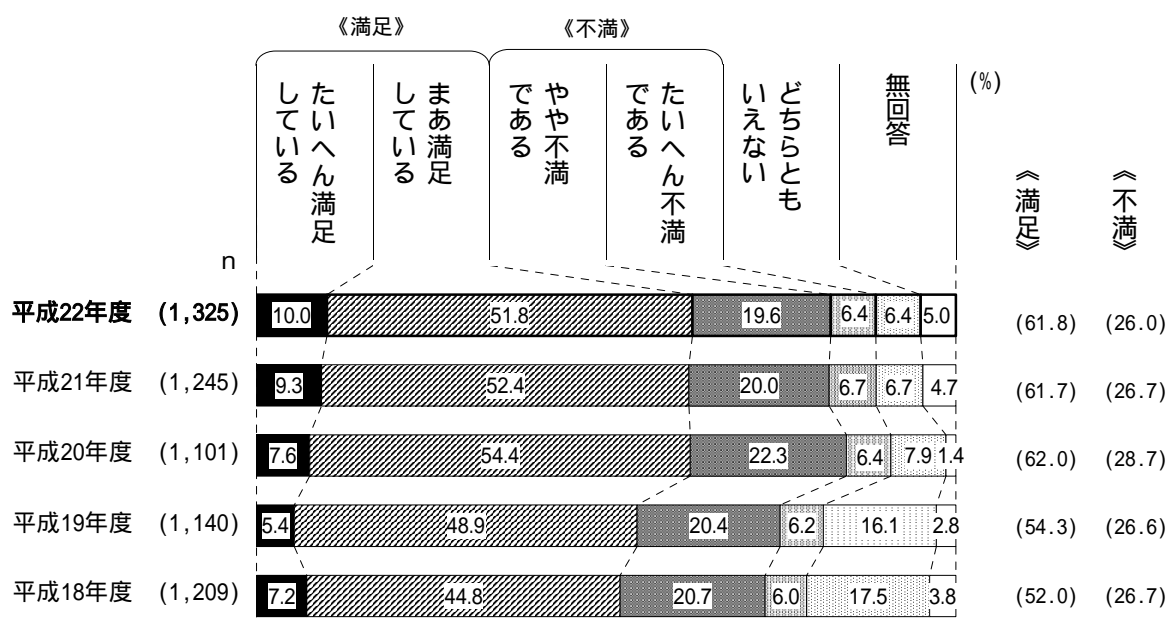
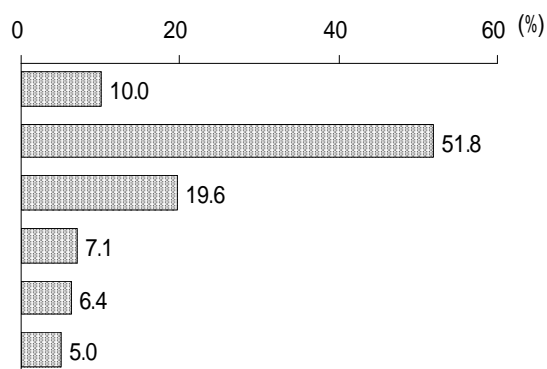
	基数(人)	構成比(%)
1 24時間常駐している	174	21.4
2 昼間のみ常駐している	254	31.3
3 常駐していない	328	40.4
4 その他	43	5.3
(無回答)	13	1.6
合計	812	100.0



6 暮らし向き別

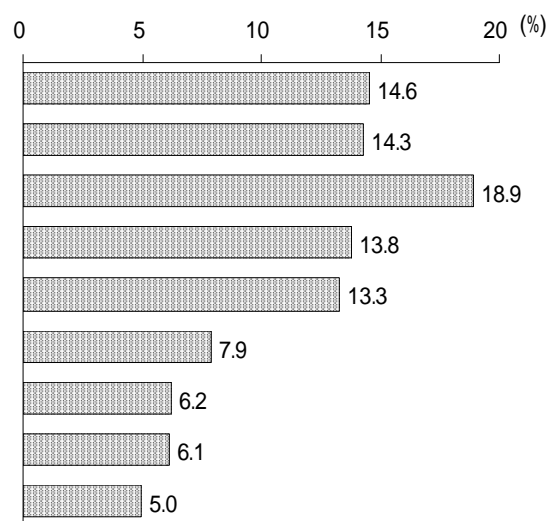
(1) 満足度

	基数(人)	構成比(%)
1 たいへん満足している	133	10.0
2 まあ満足している	687	51.8
3 やや不満である	260	19.6
4 たいへん不満である	94	7.1
5 どちらともいえない	85	6.4
(無回答)	66	5.0
合計	1,325	100.0



(2) 世帯収入

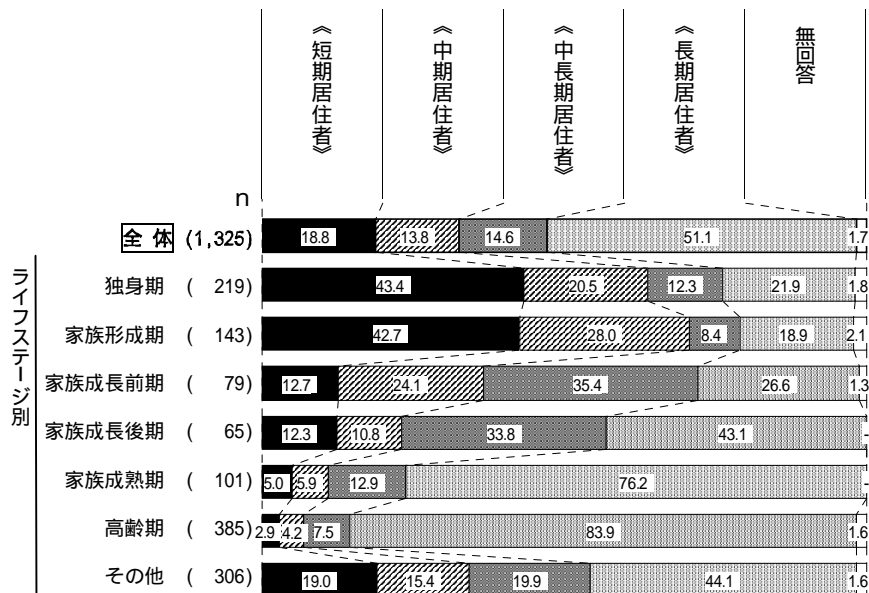
	基数(人)	構成比(%)
1 200万円未満	193	14.6
2 200万円～300万円未満	189	14.3
3 300万円～500万円未満	250	18.9
4 500万円～700万円未満	183	13.8
5 700万円～1,000万円未満	176	13.3
6 1,000万円～1,500万円未満	105	7.9
7 1,500万円以上	82	6.2
8 わからない	81	6.1
(無回答)	66	5.0
合計	1,325	100.0



1 居住意向

20年以上の《長期居住者》が5割強

区での居住年数は、「1年未満」と「1年以上3年未満」、「3年以上5年未満」をあわせた《短期居住者》が2割近く、「5年以上10年未満」の《中期居住者》と「10年以上20年未満」の《中長期居住者》は1割台半ば近くとなっています。最も高いのは、「20年以上30年未満」と「30年以上」をあわせた《長期居住者》で、5割強となっています。



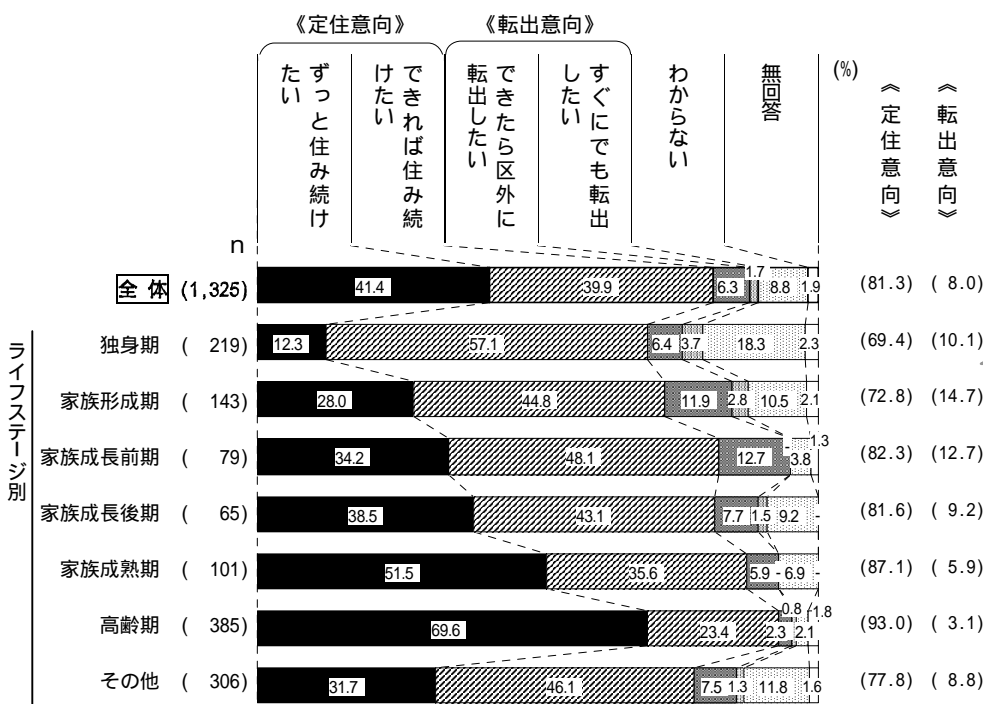
【ライフステージ別】でみると

《短期居住者》は独身期で4割台半ば近く、家族形成期で4割強と高くなっています。《中期居住者》は家族形成期で3割近く、家族成長前期で2割台半ば近く、《中長期居住者》は家族成長前期で3割台半ば、家族成長後期で3割台半ば近くとなっています。また、《長期居住者》は独身期で2割強、家族形成期で2割近くであるが、それ以降ライフステージが進むほど増加し、高齢期で8割台半ば近くに達しています。

() ライフステージ別の区分については、6ページを参照。

《定住意向》は8割強、《転出意向》は1割近く

定住・転出意向は、「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」をあわせた《定住意向》が8割強となっています。一方、「できれば住み続けたい」と「すぐにでも転出したい」をあわせた《転出意向》は1割近くとなっています。



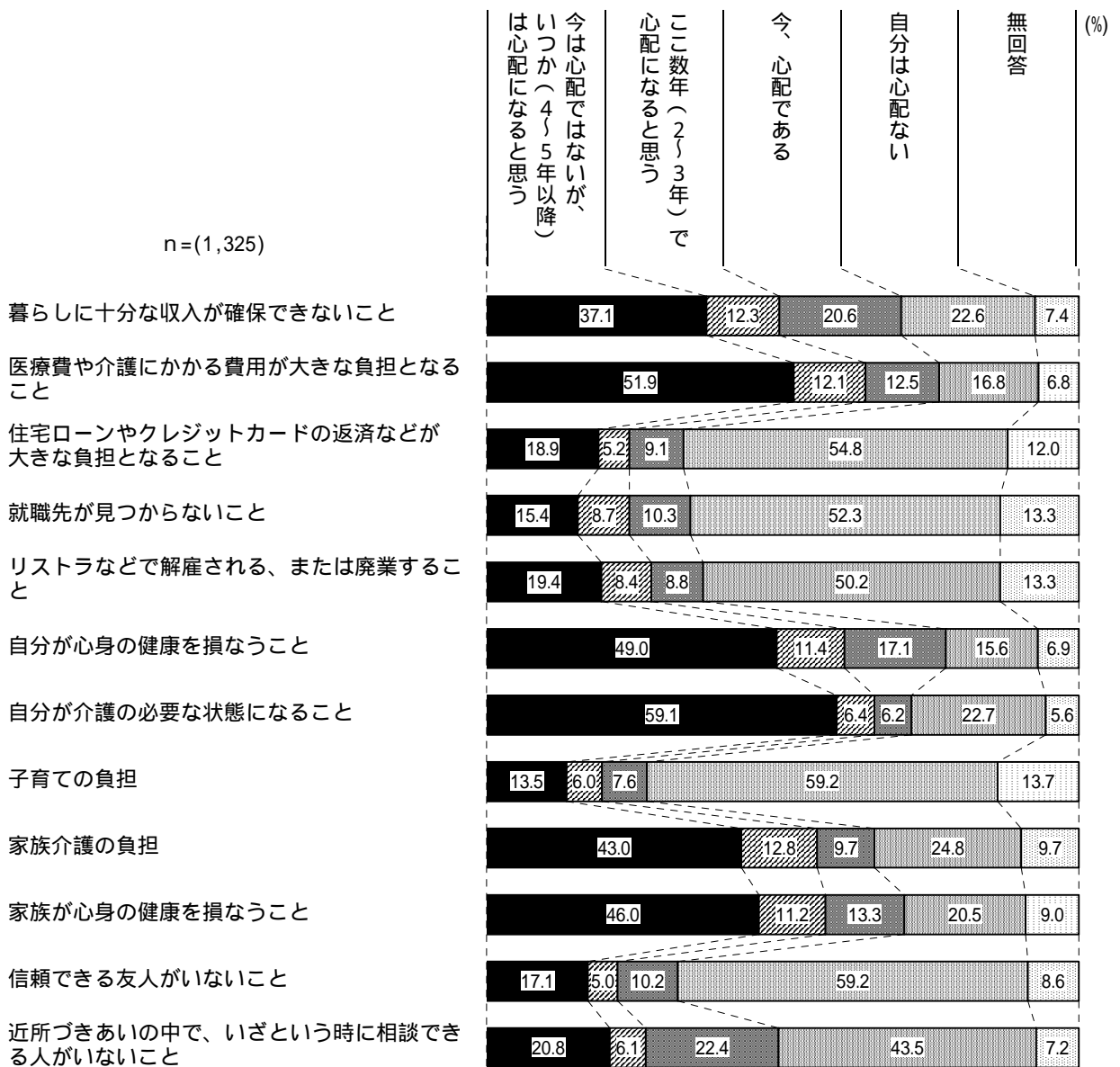
【ライフステージ別】でみると

《定住意向》はいずれのライフステージでも高くなっており、高齢期で9割台半ば近くと最も高くなっています。一方、《転出意向》は家族形成期で1割台半ば近くで最も高く、家族成長前期では1割強となっています。

2 生活における心配事

「今、心配である」は、『近所づきあいの中で、いざという時に相談できる人がいないこと』と『暮らしに十分な収入が確保できないこと』が2割を超えて高くなっている

生活における心配事で、「今、心配である」は、“近所づきあいの中で、いざという時に相談できる人がいないこと”が2割強で最も高く、続く“暮らしに十分な収入が確保できないこと”で約2割、“自分が心身の健康を損なうこと”で1割台半ばを超えています。「今は心配ではないが、いつか(4~5年以降)は心配になると思う」は、“自分が介護の必要な状態になること”で6割弱と最も高く、続く“医療費や介護にかかる費用が大きな負担となること”で5割強となっています。

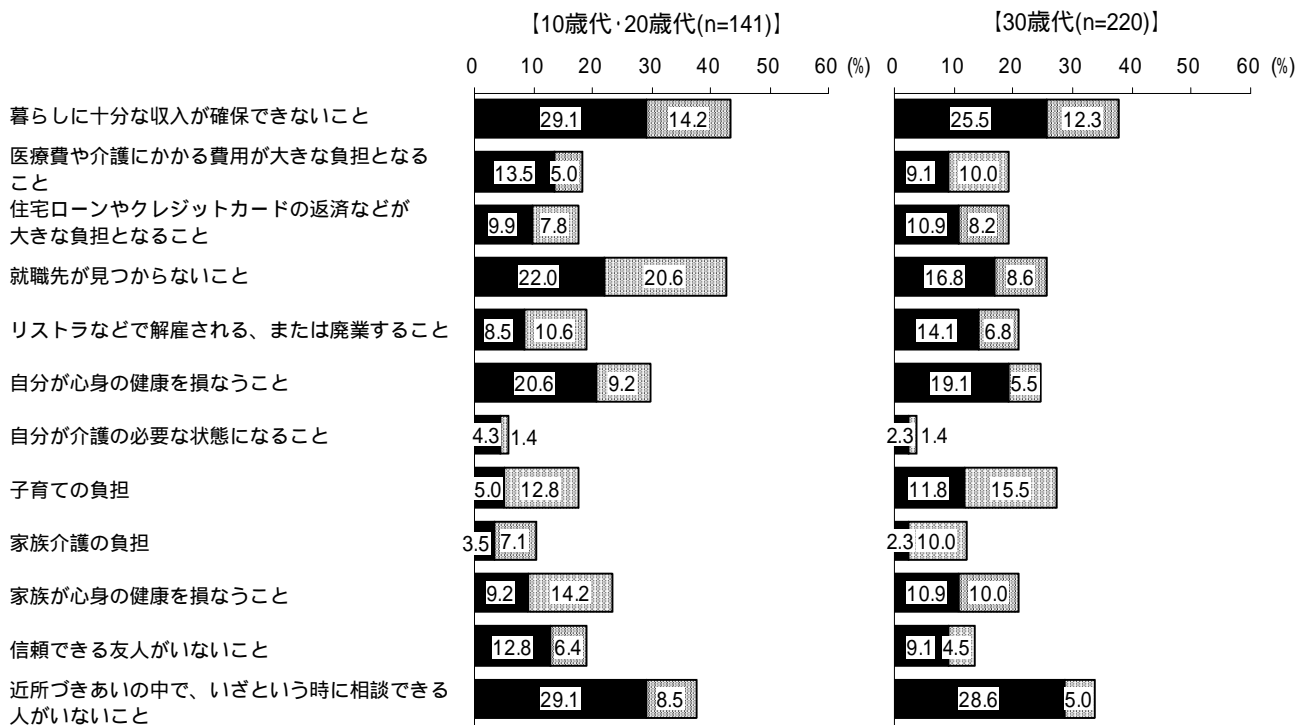


【年代別】でみると

「今、心配である」は、“近所づきあいの中で、いざという時に相談できる人がいないこと”は、70歳以上を除く全ての年代で最も高くなっています。特に、10歳代・20歳代、30歳代で3割近く以上と高くなっています。“暮らしに十分な収入が確保できないこと”は、10歳代・20歳代では、“近所づきあいの中で、いざという時に相談できる人がいないこと”と並んで3割弱で最も高く、60歳代までの年代で高くなっています。“自分が心身の健康を損なうこと”は、10歳代・20歳代、30歳代、70歳以上で2割前後と高くなっています。

「ここ数年（2～3年）で心配になると思う」は、10歳代・20歳代で、“就職先が見つからないこと”が約2割となっています。また、40歳代、50歳代で“家族介護の負担”が高くなっています。

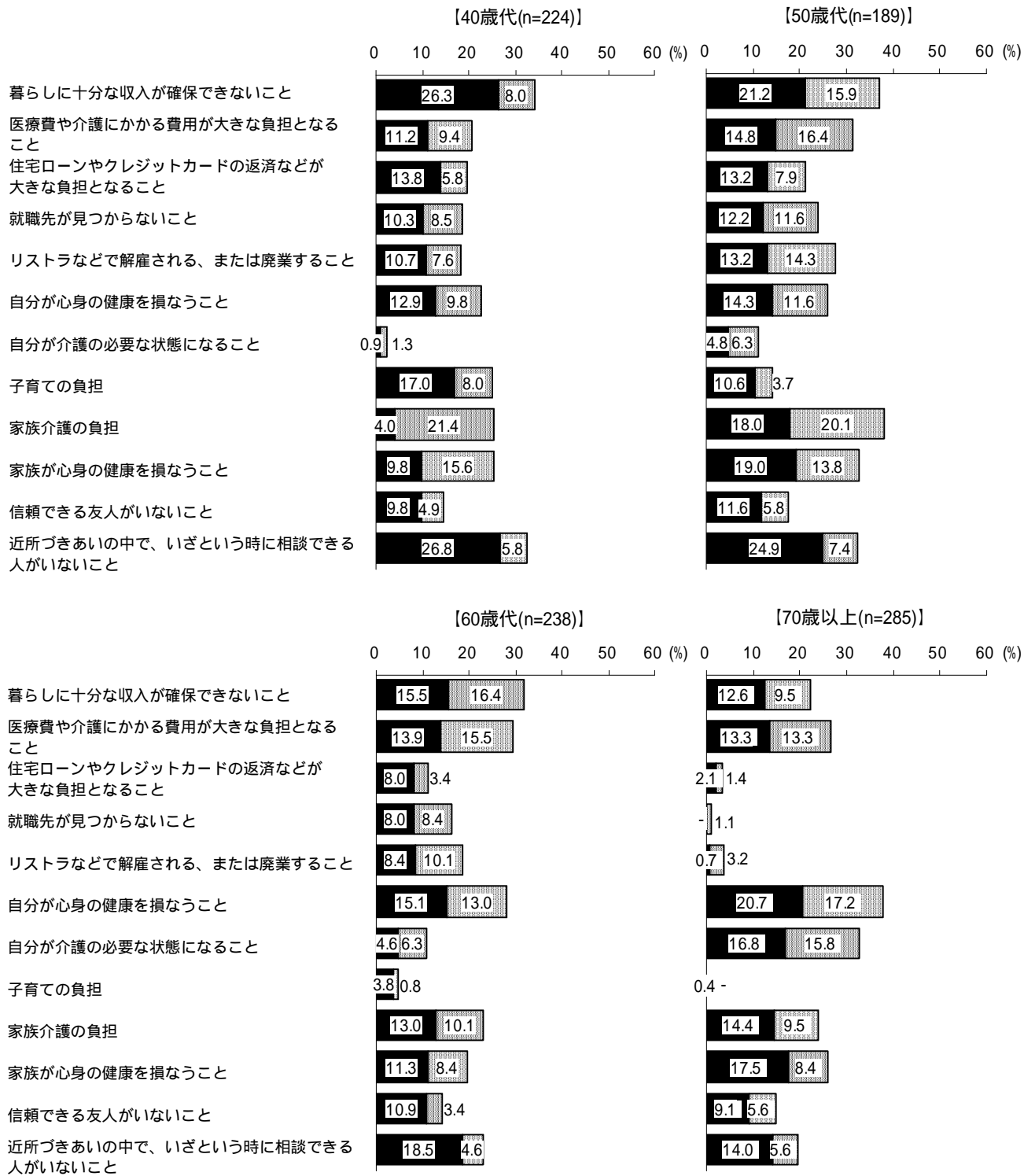
■ 今、心配である
 ■ ここ数年（2～3年）で心配になると思う



(注1) ここでの図表は、「ここ数年（2～3年）で心配になると思う」と「今、心配である」だけを、順序を入れかえ掲載しています。

(注2) 図表の最大値は、領域を明確化するため60%で表示しています。

■ 今、心配である
 ▨ ここ数年(2～3年)で心配になると思う



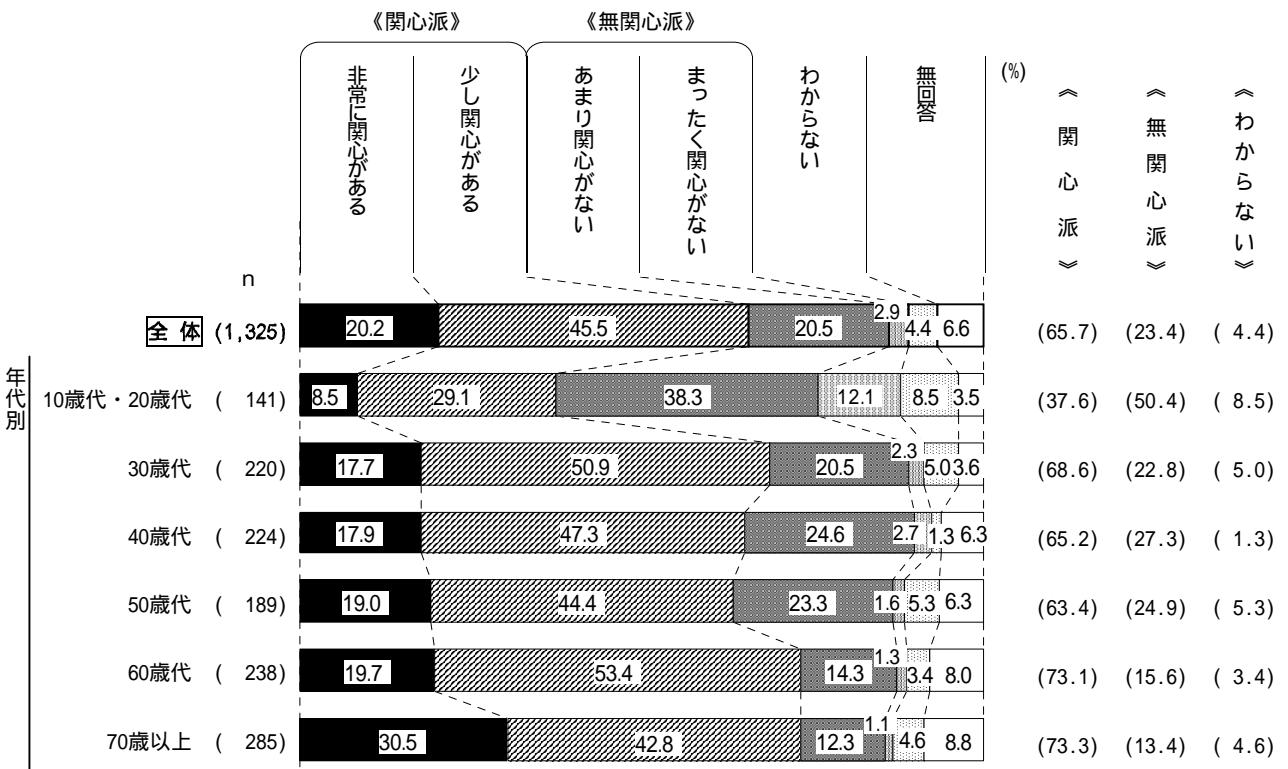
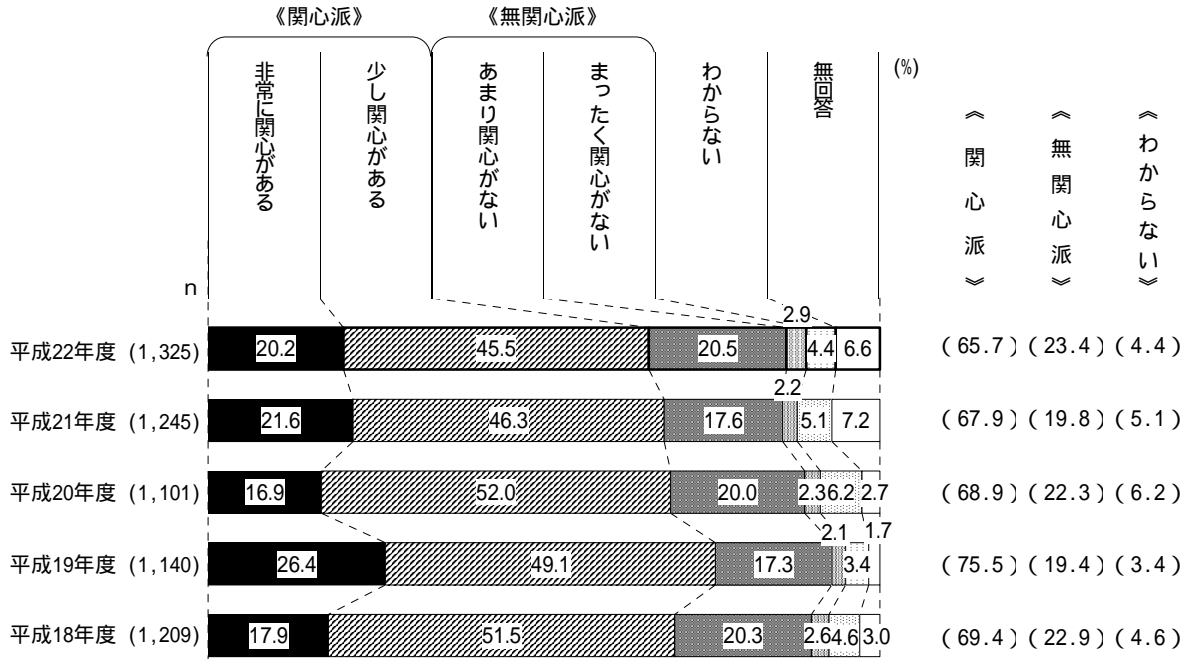
(注1) ここでの図表は、「ここ数年(2～3年)で心配になると思う」と「今、心配である」だけを、順序を入れかえ掲載しています。

(注2) 図表の最大値は、領域を明確化するため60%で表示しています。

3 区政への関心

《関心派》が6割台半ば

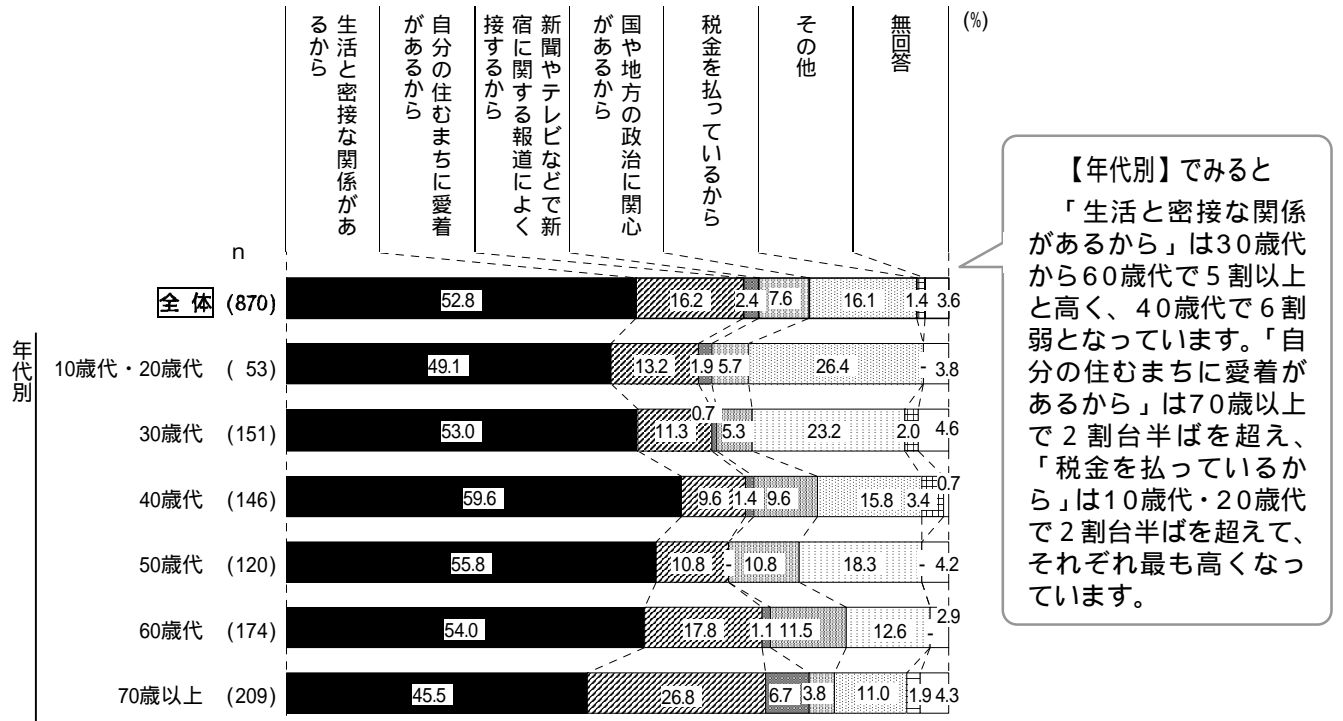
区政への関心度は、区政に積極的に関心を示す「非常に関心がある」と「少し関心がある」をあわせた《関心派》が6割台半ばとなっています。一方、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」をあわせた《無関心派》は2割台半ば近くとなっています。



【年代別】でみると
 《関心派》は30歳代以上の年代で6割以上となっており、60歳代と70歳以上で7割台半ば近くとなっています。一方、《無関心派》は10歳代・20歳代で約5割と最も高くなっています。

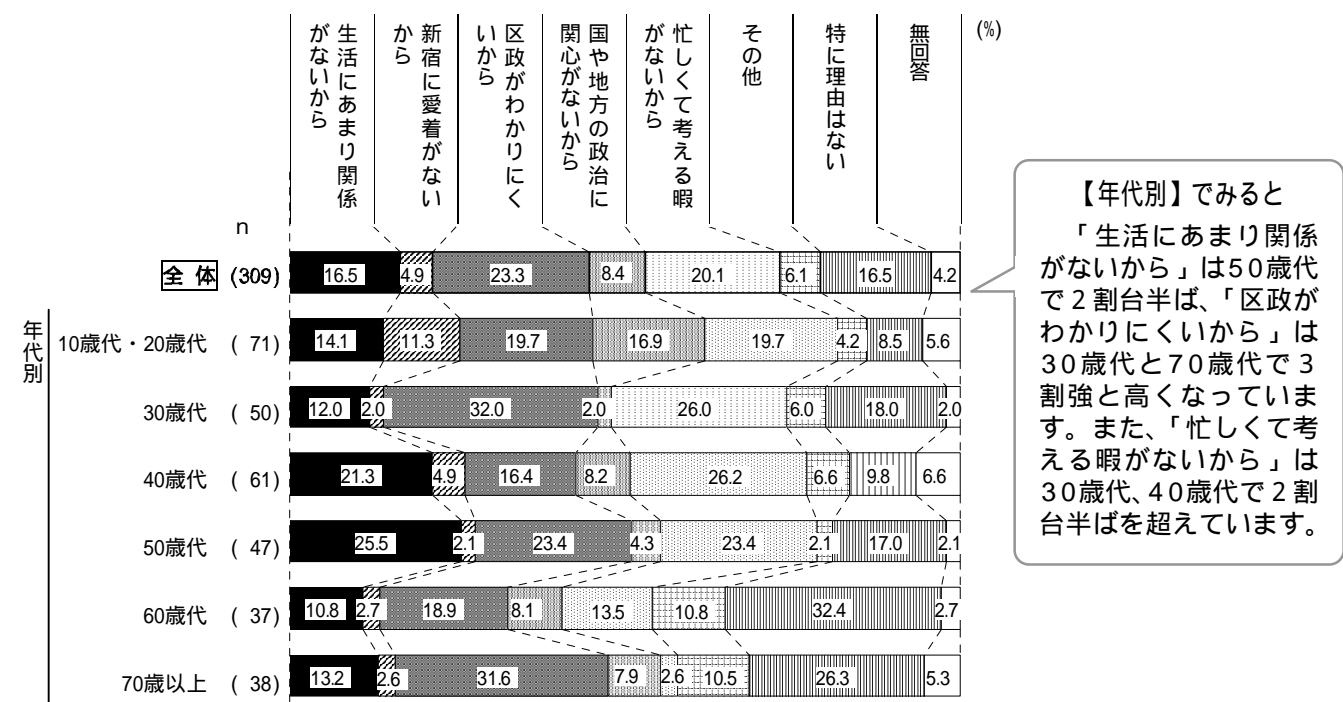
《関心派》の理由は「生活と密接な関係があるから」が5割強で最も高い

《関心派》だった人にその理由をたずねたところ、「生活と密接な関係があるから」が5割強で最も高くなっています。次いで、「自分の住むまちに愛着があるから」と「税金を払っているから」が1割台半ばを超えています。



《無関心派》の理由は「区政がわかりにくいから」が2割台半ば近く、「忙しくて考える暇がないから」が約2割で続く

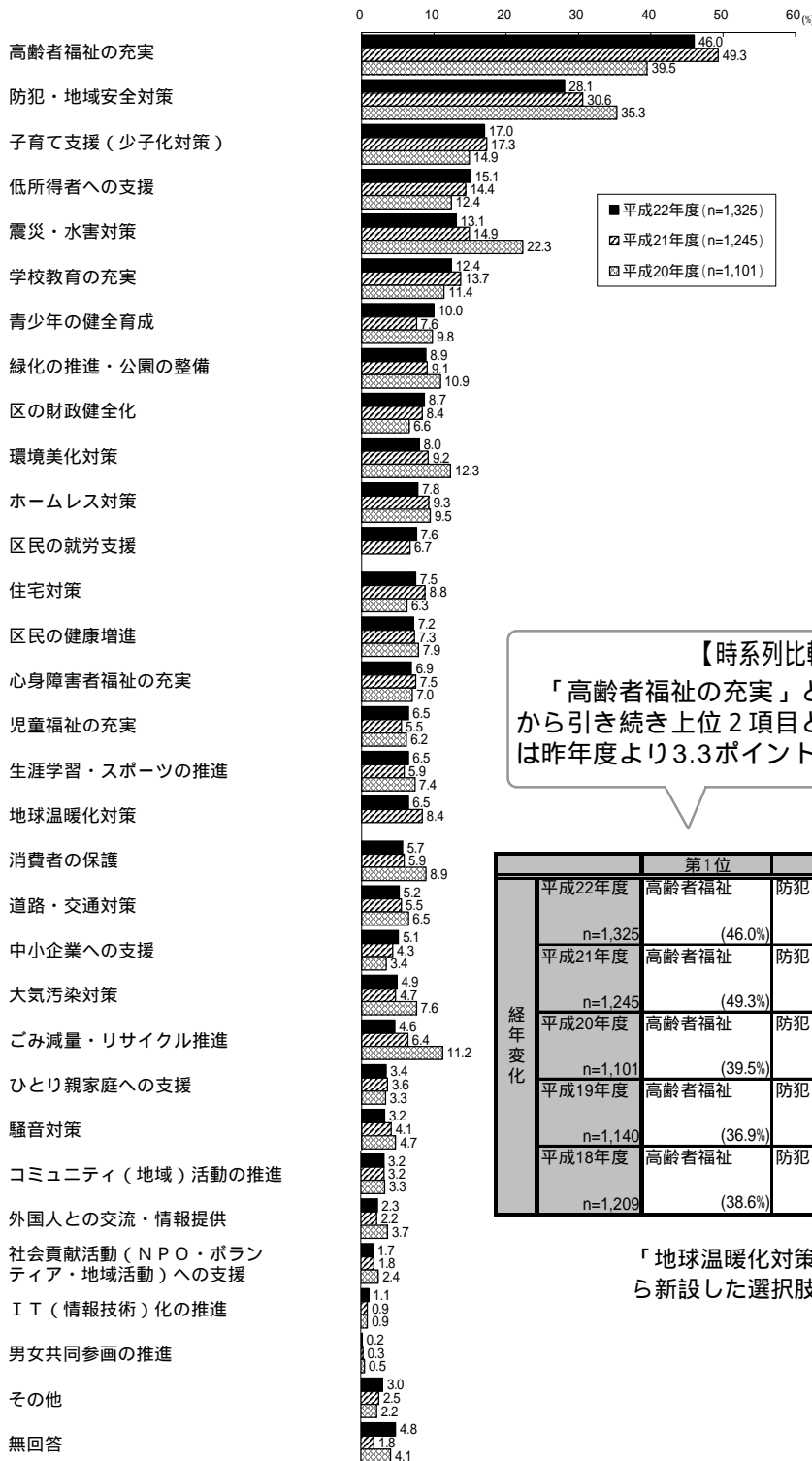
《無関心派》だった人にその理由をたずねたところ、「区政がわかりにくいから」が2割台半ば近くで最も高く、「忙しくて考える暇がないから」が約2割で続きます。



4 区政への要望

「高齢者福祉の充実」が4割台半ばを超えて最も高く、「防犯・地域安全対策」が3割近く、「子育て支援（少子化対策）」が1割台半ばを超え続く

施策への要望としては、「高齢者福祉の充実」が4割台半ばを超えて最も高く、次いで、「防犯・地域安全対策」が3割近くとなっています。以下、「子育て支援（少子化対策）」、「低所得者への支援」、「震災・水害対策」、「学校教育の充実」の順で続いています。



【時系列比較】でみると（上位5項目）
 「高齢者福祉の充実」と「防犯・地域安全対策」は平成17年度から引き続き上位2項目となっていますが、「高齢者福祉の充実」は昨年度より3.3ポイント減少しています。

経年変化	年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
		平成22年度 n=1,325	高齢者福祉 (46.0%)	防犯・地域安全 (28.1%)	子育て支援 (17.0%)	低所得者への支援 (15.1%)
平成21年度 n=1,245	高齢者福祉 (49.3%)	防犯・地域安全 (30.6%)	子育て支援 (17.3%)	震災・水害対策 (14.9%)	低所得者への支援 (14.4%)	
平成20年度 n=1,101	高齢者福祉 (39.5%)	防犯・地域安全 (35.3%)	震災・水害対策 (22.3%)	子育て支援 (14.9%)	低所得者への支援 (12.4%)	
平成19年度 n=1,140	高齢者福祉 (36.9%)	防犯・地域安全 (24.2%)	震災・水害対策 (15.3%)	子育て支援 (13.6%)	学校教育の充実 (13.5%)	
平成18年度 n=1,209	高齢者福祉 (38.6%)	防犯・地域安全 (35.7%)	子育て支援 (19.9%)	震災・水害対策 (18.6%)	騒音・大気汚染 (15.6%)	

「地球温暖化対策」と「区民の就労支援」は平成21年度から新設した選択肢です。

【ライフステージ別】でみると(上位5項目)

家族成熟期以降のライフステージで「高齢者福祉の充実」、「防犯・地域安全対策」、「低所得者への支援」、「震災・水害対策」の順に上位4項目となっています。家族形成期と家族成長前期では、「子育て支援(少子化対策)」と「学校教育の充実」が上位2項目となっています。

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
ラ イ フ ス テ ィ ジ 別	独身期 n=219	防犯・地域安全対策 (28.8%)	高齢者福祉の充実 (18.7%)	子育て支援 (少子化対策) (17.4%)	ホームレス対策 (16.4%)	低所得者への支援 (14.2%)
	家族形成期 n=143	子育て支援 (少子化対策) (60.8%)	学校教育の充実 (35.7%)	児童福祉の充実 (23.1%)	防犯・地域安全対策 (22.4%)	緑化の推進・公園の整備 (16.8%)
	家族成長前期 n=79	学校教育の充実 (43.0%)	子育て支援 (少子化対策) (31.6%)	防犯・地域安全対策 (30.4%)	児童福祉の充実 (21.5%)	高齢者福祉の充実 (19.0%)
	家族成長後期 n=65	防犯・地域安全対策 (41.5%)	高齢者福祉の充実 (40.0%)	震災・水害対策 (30.8%)	青少年の健全育成 (16.9%)	区の財政健全化 (13.8%)
	家族成熟期 n=101	高齢者福祉の充実 (60.4%)	防犯・地域安全対策 (35.6%)	低所得者への支援 (16.8%)	震災・水害対策 (12.9%)	青少年の健全育成 (11.9%)
	高齢期 n=385	高齢者福祉の充実 (73.0%)	防犯・地域安全対策 (26.8%)	低所得者への支援 (16.9%)	震災・水害対策 (12.5%)	青少年の健全育成 (10.9%)
	その他 n=306	高齢者福祉の充実 (49.7%)	防犯・地域安全対策 (26.5%)	低所得者への支援 (21.9%)	震災・水害対策 (15.0%)	環境美化対策 (12.7%)

(注) ライフステージ別の区分については、6ページを参照。

【居住地域別】でみると(上位5項目)

全ての地域で「高齢者福祉の充実」が第1位となっており、角筈・区役所を除いた全ての地域で「防犯・地域安全対策」が第2位となっています。

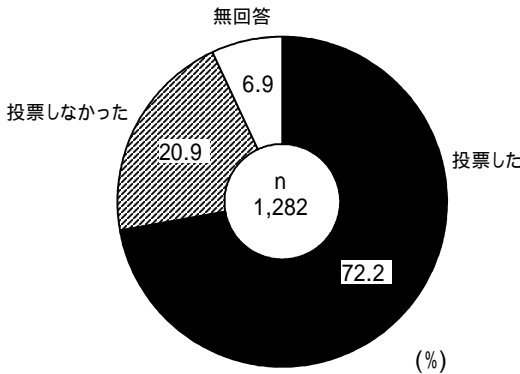
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
居 住 地 域 別	四谷 n=161	高齢者福祉の充実 (42.2%)	防犯・地域安全対策 (26.1%)	子育て支援 (少子化対策) (21.1%)	低所得者への支援 (15.5%)	震災・水害対策 (14.9%)
	笹筈町 n=166	高齢者福祉の充実 (44.0%)	防犯・地域安全対策 (30.7%)	子育て支援 (少子化対策) (16.9%)	学校教育の充実 (14.5%)	区民の健康増進 (13.9%)
	榎町 n=121	高齢者福祉の充実 (43.8%)	防犯・地域安全対策 (28.1%)	子育て支援 (少子化対策) (23.1%)	震災・水害対策 (17.4%)	学校教育の充実 (14.9%)
	若松町 n=133	高齢者福祉の充実 (51.1%)	防犯・地域安全対策 (23.3%)	低所得者への支援 (21.1%)	子育て支援 (少子化対策) (13.5%)	心身障害者福祉の充実 (12.0%)
	大久保 n=141	高齢者福祉の充実 (43.3%)	防犯・地域安全対策 (32.6%)	低所得者への支援 (16.3%)	ホームレス対策 (15.6%)	子育て支援 (少子化対策) (13.5%)
	戸塚 n=147	高齢者福祉の充実 (45.6%)	防犯・地域安全対策 (25.9%)	低所得者への支援 (19.0%)	子育て支援(少子化対 策) (16.3%)	震災・水害対策 (14.3%)
	落合第一 n=130	高齢者福祉の充実 (39.2%)	防犯・地域安全対策 (33.1%)	子育て支援(少子化対 策) (20.8%)	緑化の推進・公園の整 備 (16.2%)	震災・水害対策 (15.4%)
	落合第二 n=124	高齢者福祉の充実 (58.9%)	防犯・地域安全対策 (29.0%)	低所得者への支援 (16.1%)	学校教育の充実/子育て支援(少子化対策) (14.5%)	
	柏木 n=105	高齢者福祉の充実 (44.8%)	防犯・地域安全対策 (28.6%)	低所得者への支援 (18.1%)	子育て支援 (少子化対策) (16.2%)	学校教育の充実 (15.2%)
	角筈・区役所 n=51	高齢者福祉の充実 (52.9%)	ホームレス対策 (23.5%)	防犯・地域安全対策 (21.6%)	低所得者への支援 (19.6%)	子育て支援 (少子化対策) (15.7%)

(注) 同率のものは、同一順位として併記している。

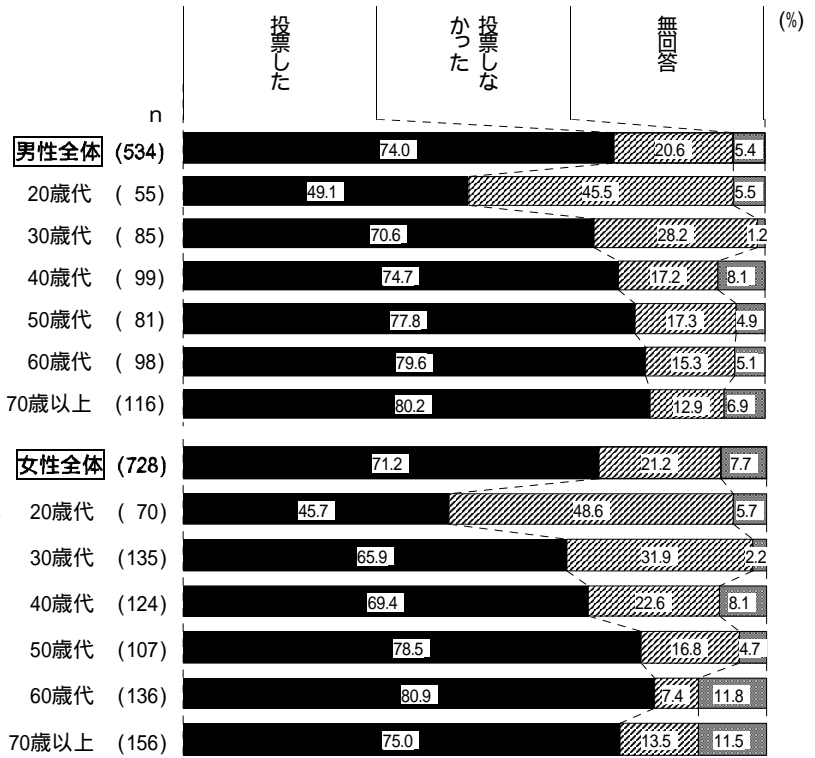
5 選挙

「投票した」が7割強を占める

参議院議員選挙の投票の有無は、「投票した」が7割強を占め、一方の「投票しなかった」が約2割となっています。



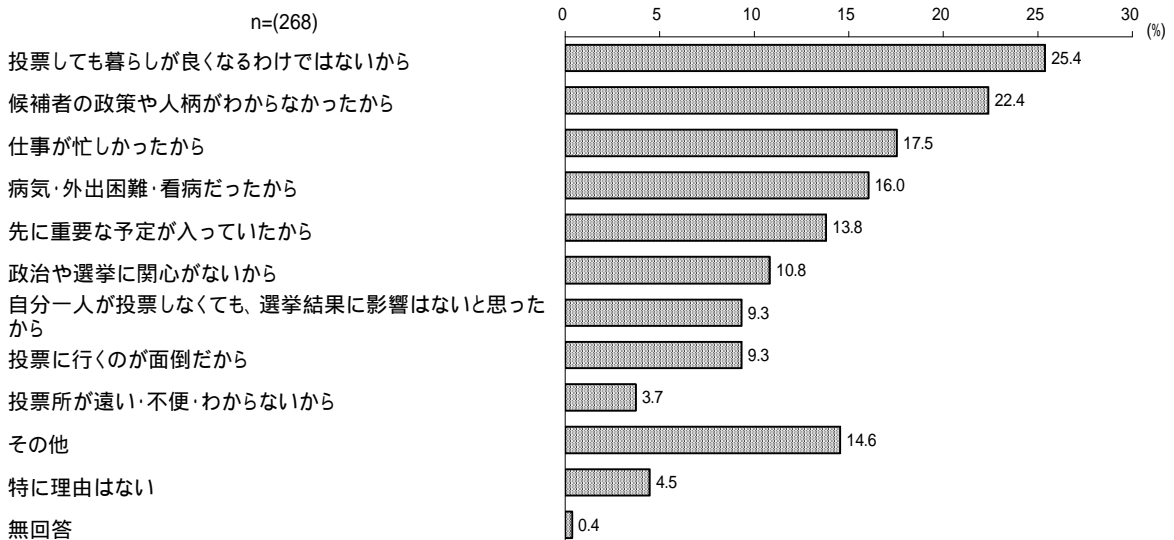
【性・年代別】でみると「投票した」は男性の70歳以上と女性の60歳代で約8割と高く、年代が上がるほど高い傾向がみられます。一方、「投票しなかった」は女性の20歳代で5割近くと最も高くなっています。



(注) nは20歳以上としています。

投票しなかった理由は「投票しても暮らしが良くなるわけではないから」が2割台半ばで最も高い

「投票しなかった」理由をたずねたところ、「投票しても暮らしが良くなるわけではないから」が2割台半ばで最も高く、次いで、「候補者の政策や人柄がわからなかったから」が2割強、「仕事が忙しかったから」が1割台半ばを超えています。

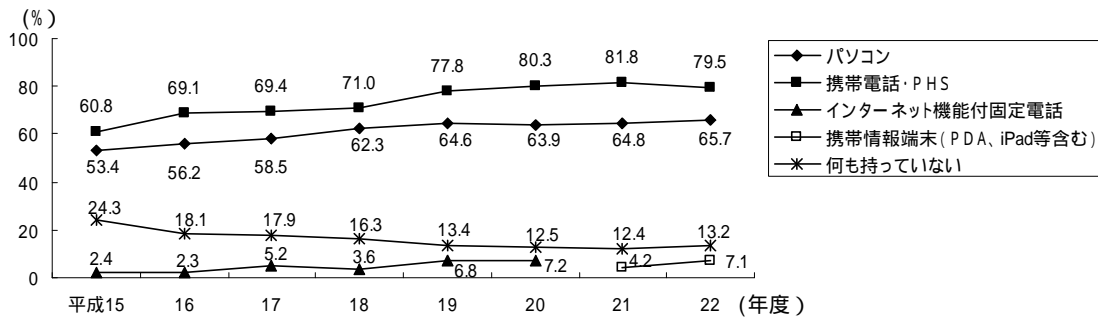


⑥ 「新宿区公式ホームページ」の利用

持っている情報機器は「携帯電話・PHS」が8割弱、「パソコン」が6割台半ばで続く

持っている情報機器をたずねたところ、「携帯電話・PHS」が8割弱を占め、「パソコン」が6割台半ばとなっています。一方で、「何も持っていない」は1割台半ば近くとなっています。

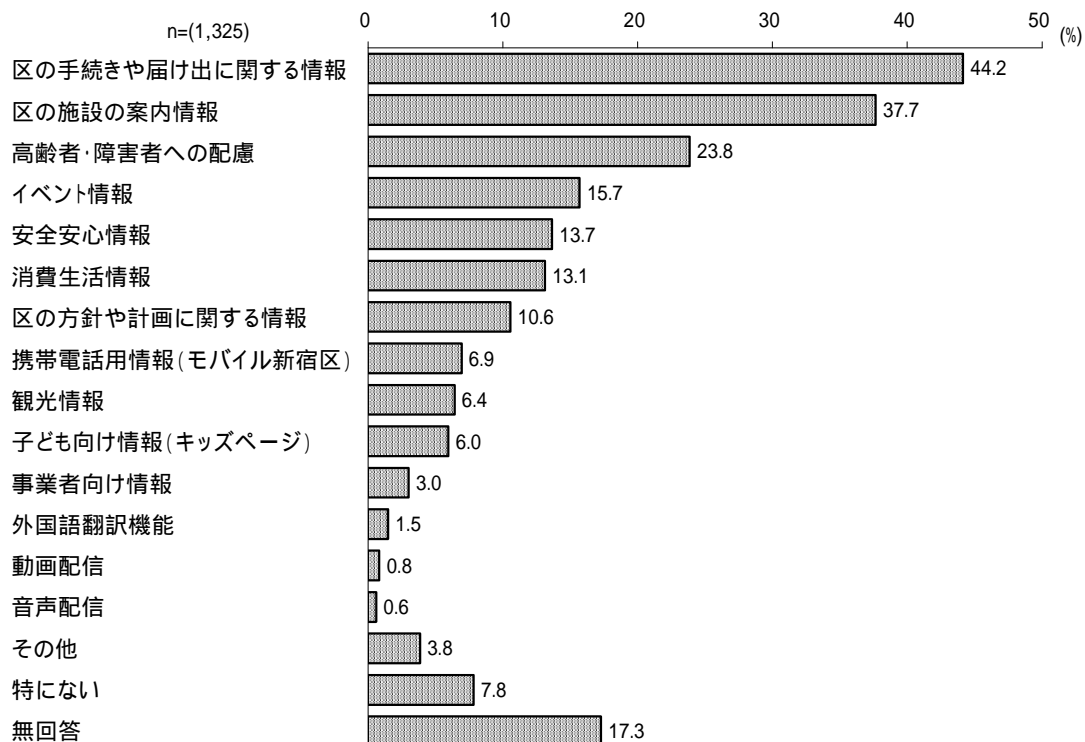
時系列でみると、「携帯電話・PHS」は今年度減少に転じており、「パソコン」は年々増加しています。



平成20年度まで使用していた「インターネット機能付固定電話」という選択肢は、平成21年度は「携帯端末(PDA)」、今回から「携帯端末(PDA、iPad等含む)」という内容に変更している。

新宿区公式ホームページで充実してほしい情報・機能は、「区の手続きや届け出に関する情報」が4割台半ば近く、「区の施設の案内情報」が3割台半ばを超える

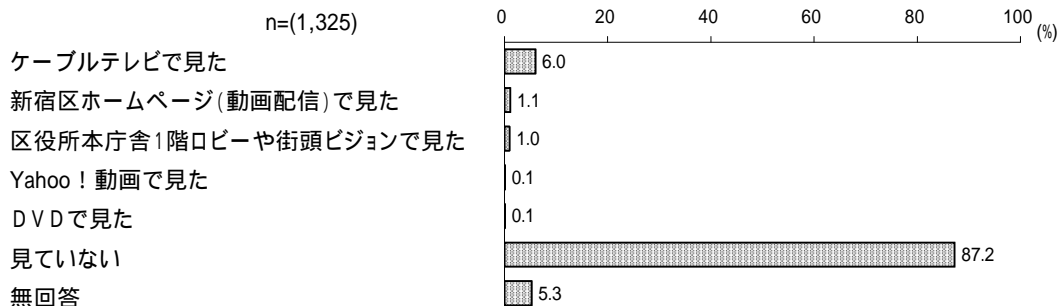
区ホームページで充実してほしい情報・機能は、「区の手続きや届け出に関する情報」4割台半ば近くで最も高く、次いで、「区の施設の案内情報」「高齢者・障害者への配慮」となっています。



7 ケーブルテレビを活用した広報番組

視聴状況は「見た」が7.5% ()

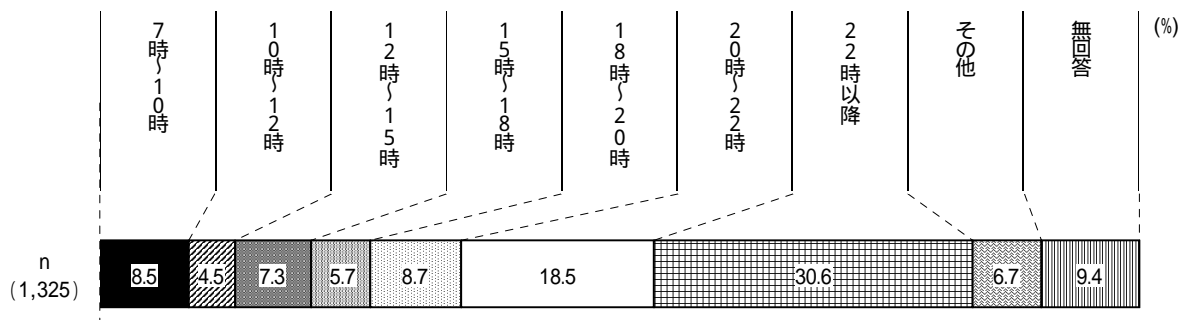
広報番組の視聴状況は、「見た」は7.5%、一方、「見ていない」が8割台半ばを超えています。



上記は複数回答のため、「見た」は全体から「見ていない」「無回答」を除いた割合(7.5%)

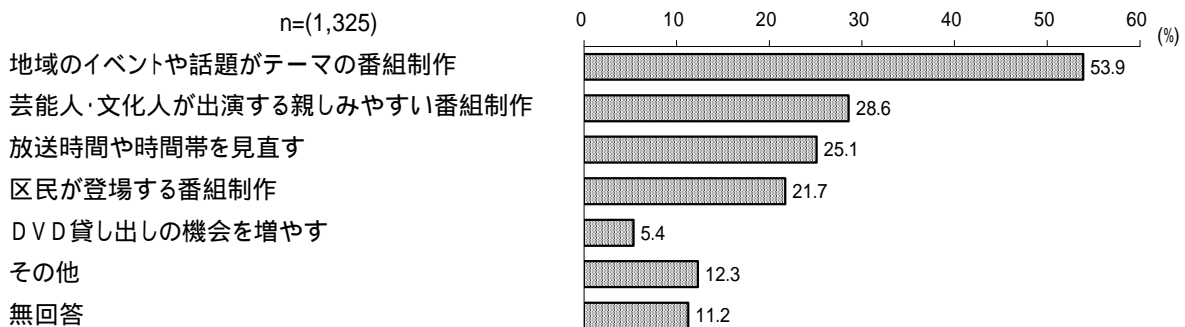
放送時間帯への要望は「22時以降」が約3割

番組の放送時間帯への要望は、「22時以降」が約3割で最も高く、次いで、「20時~22時」となっています。



見ていただくために必要なことは「地域のイベントや話題がテーマの番組制作」が5割台半ば近く

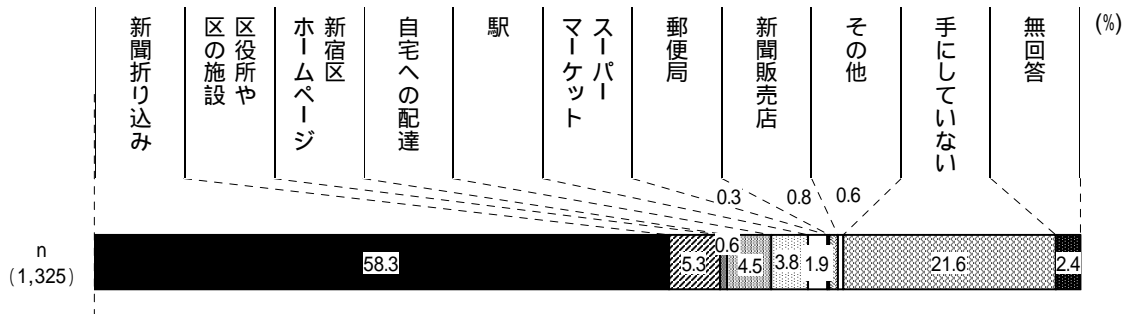
広報番組を見ていただくために必要なことは、「地域のイベントや話題がテーマの番組制作」が5割台半ば近くで最も高く、次いで、「芸能人・文化人が出演する親しみやすい番組制作」が3割近くとなっています。



⑧ 「広報しんじゅく」の利用

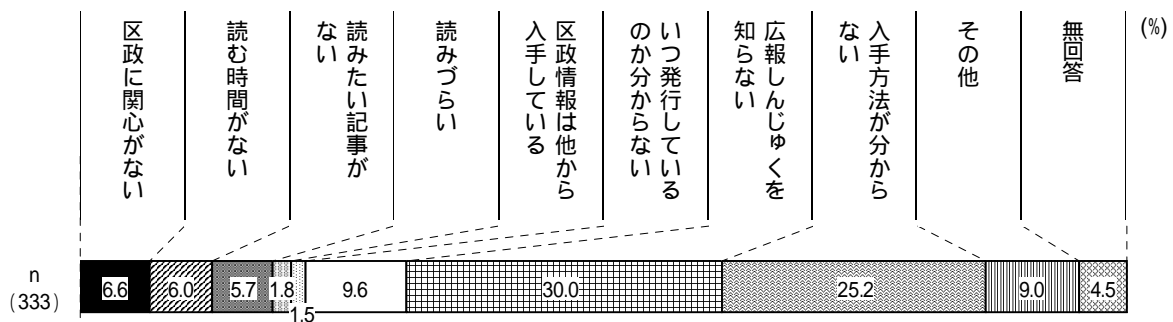
入手先は「新聞折り込み」が6割近くで最も高い

「広報しんじゅく」の入手先は、「新聞折り込み」が6割近くで最も高く、次いで、「区役所や区の施設（特別出張所・図書館など）」となっています。一方で、「手にしていない」が2割強となっています。



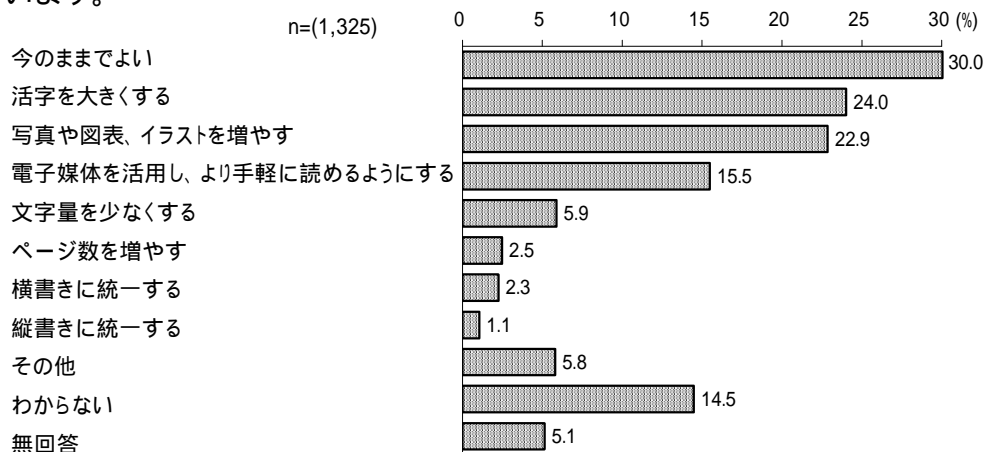
読まない理由は、「広報しんじゅくを知らない」が3割、「入手方法が分からない」が2割台半ばで続く

「広報しんじゅく」を読まない理由は、「広報しんじゅくを知らない」が3割で最も高く、次いで、「入手方法が分からない」が2割台半ばとなっています。



読んでいただくために必要なことは、「今のままでよい」が3割、「活字を大きくする」「写真や図表、イラストを増やす」が2割台で続く

「広報しんじゅく」を読んでいただくために必要なことは、「今のままでよい」が3割で最も高く、次いで、「活字を大きくする」が2割台半ば近く、「写真や図表、イラストを増やす」が2割強となっています。



9 区の情報発信全般

暮らしの中で必要な情報は「区の手続きや届け出に関すること」が3割台半ばを超える

広報番組に期待するテーマは「区の施策や方針・計画に関すること」が1割台半ば近い

「広報しんじゅく」では、「地域の行事・イベントやお祭りに関すること」が今後充実してほしい記事で1割台半ば近く、よく読む記事で2割台半ばを超えて最も高い

区の情報発信全般についてみると、暮らしの中で必要な情報は、「区の手続きや届け出に関すること」が3割台半ばを超えて最も高く、次いで、「健診や健康管理など保健に関すること」が2割台半ば、「区の施設の所在地や利用案内に関すること」が2割台半ば近くとなっています。

広報番組に期待するテーマは、「区の施策や方針・計画に関すること」が1割台半ば近くで最も高く、次いで、「地域の行事・イベントやお祭りに関すること」が1割強となっています。

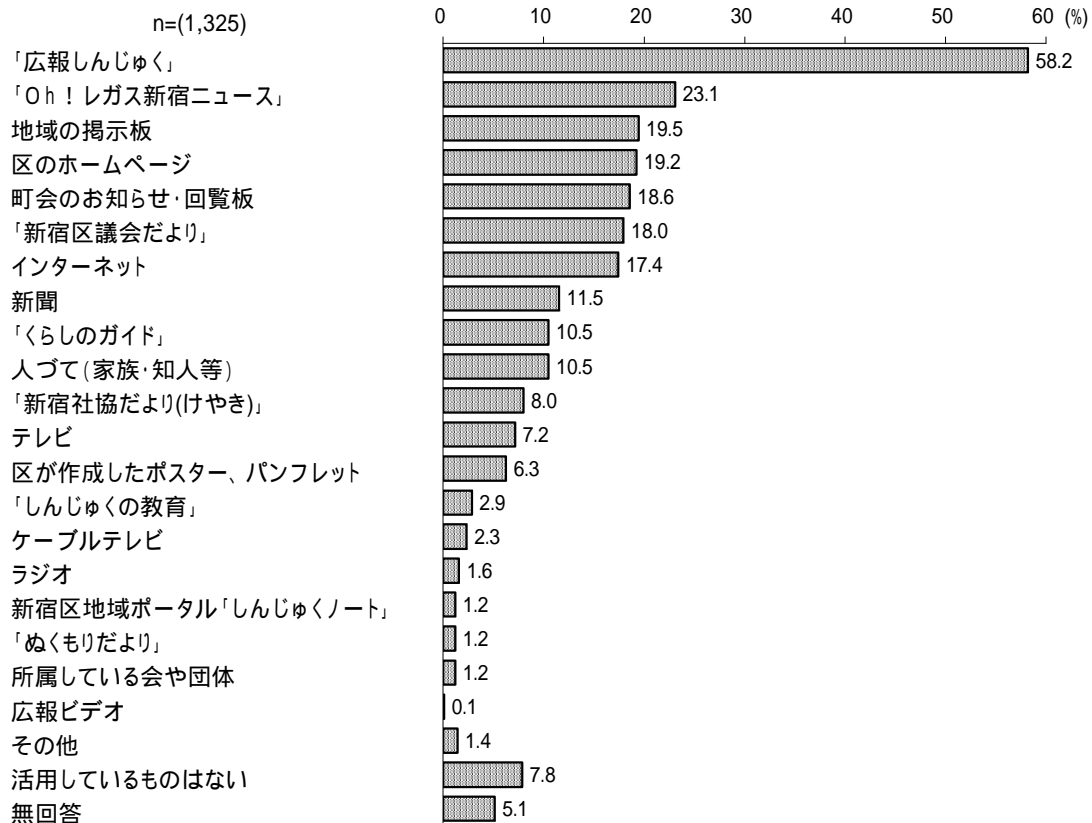
「広報しんじゅく」で充実してほしい記事は、「地域の行事・イベントやお祭りに関すること」が1割台半ば近くで最も高くなっています。

「広報しんじゅく」でよく読む記事は、「地域の行事・イベントやお祭りに関すること」が2割台半ばを超えて最も高く、次いで、「健診や健康管理など保健に関すること」が2割台半ば近くとなっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
暮らしの中で必要な情報 n=1,325	区の手続きや届け出に関すること (37.5%)	健診や健康管理など保健に関すること (25.7%)	区の施設の所在地や利用に関すること (23.9%)	環境、ごみ・リサイクルに関すること (19.1%)	福祉に関すること (18.0%)
広報番組に期待するテーマ n=1,325	区の施策や方針・計画に関すること (13.7%)	地域の行事・イベントやお祭りに関すること (12.5%)	福祉に関すること (11.5%)	防犯・防災など安全・安心に関すること (11.2%)	区の歴史や文化財に関すること (9.1%)
「広報しんじゅく」で充実してほしい記事 n=1,325	地域の行事・イベントやお祭りに関すること (14.3%)	健診や健康管理など保健に関すること (12.3%)	福祉に関すること (11.9%)	防犯・防災など安全・安心に関すること (11.2%)	区の歴史や文化財に関すること (10.7%)
「広報しんじゅく」でよく読む記事 n=949	地域の行事・イベントやお祭りに関すること (26.4%)	健診や健康管理など保健に関すること (23.7%)	文化教養・スポーツに関すること (13.8%)	福祉に関すること (12.8%)	区の手続きや届け出に関すること (12.6%)

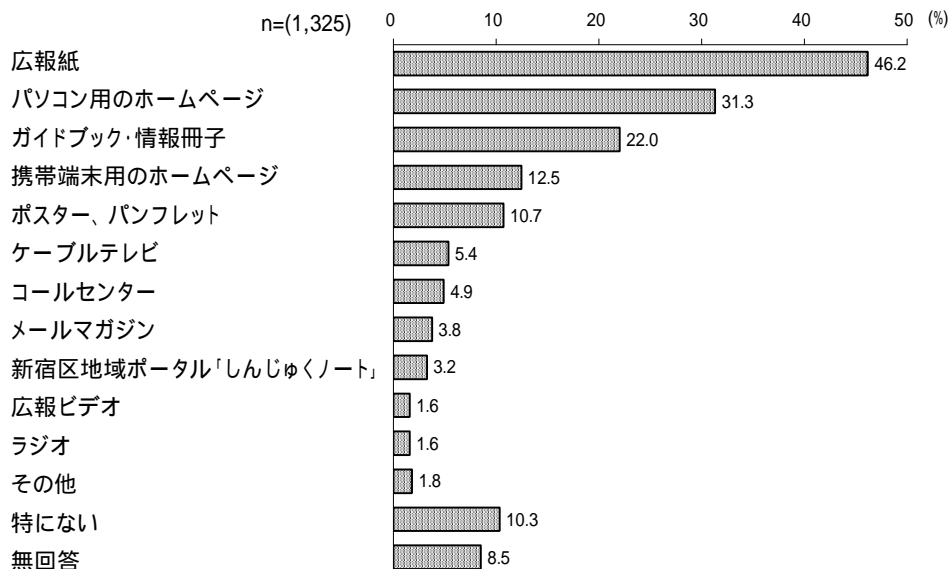
区の情報入手に活用しているものは「広報しんじゅく」が6割近く

区の情報入手に活用しているものは、「広報しんじゅく」が6割近くで最も高くなっています。次いで、「Oh!レガス新宿ニュース」が2割台半ば近く、「地域の掲示板」「区のホームページ」が2割弱となっています。



区の情報発信で今後力を入れてほしいことは「広報紙」が4割台半ばを超えて最も高く、「パソコン用のホームページ」が3割強で続く

区の情報発信で今後力を入れてほしいことは、「広報紙」が4割台半ばを超えて最も高くなっています。次いで、「パソコン用のホームページ」が3割強、「ガイドブック・情報冊子」が2割強となっています。



10 窓口サービスの利用状況

認知度の高いサービスの利用状況は、「証明書自動交付機による住民票及び印鑑証明書の発行」が4割台半ばを超え、「コンビニエンスストアでの住民税や国民健康保険料等の支払」が5割台半ば近くとなっている

知っている窓口サービスのうち利用したことがあるものは、認知度の高い順に「証明書自動交付機による住民票及び印鑑証明書の発行」が4割台半ばを超え、「コンビニエンスストアでの住民税や国民健康保険料等の支払」が5割台半ば近く、「住民票・戸籍謄・抄本等の郵送請求による発行」が3割強となっています。

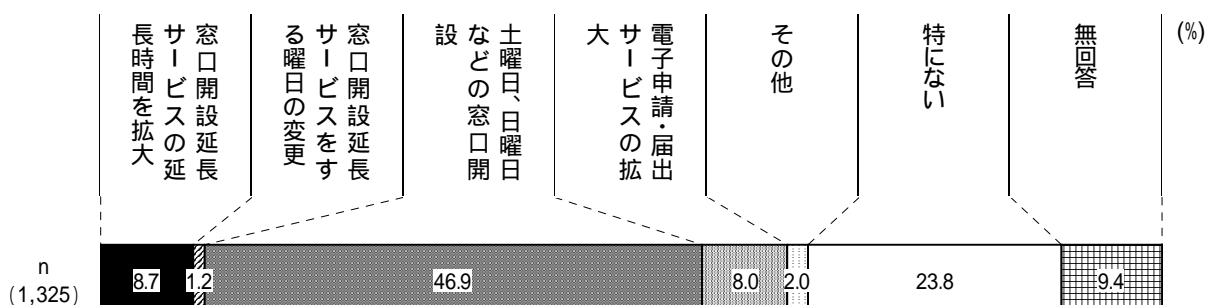
【窓口サービスの拡大】 知っていますか？〔n=1,325〕	
毎週火曜日午後7時までの窓口開設	18.6%
年度末・年度始めの繁忙期における、土曜日の区役所の窓口開設	9.8
住民票・戸籍謄・抄本等の郵送請求による発行	34.0
証明書自動交付機による住民票及び印鑑証明書の発行	51.3
電話予約による住民票及び印鑑証明書の発行	7.2
住民基本台帳カードを利用した電子証明書の発行	17.1
電子申請・届出	7.2
申請書のダウンロード	16.3
コンビニエンスストアでの住民税や国民健康保険料等の支払	41.8
新宿区コールセンターのご案内 (☎ 3 2 0 9 - 9 9 9 9)	7.8
よくある質問と回答の検索(ホームページFAQ)	10.0

【利用状況】 利用したことがありますか？			
n	1 ある	2 ない	(無回答)
247	53.0%	42.9	4.0
130	18.5	65.4	16.2
451	32.2	59.2	8.6
680	46.5	45.1	8.4
96	30.2	61.5	8.3
227	22.5	69.2	8.4
96	13.5	80.2	6.3
216	40.7	52.3	6.9
554	53.1	38.8	8.1
103	31.1	61.2	7.8
132	60.6	34.8	4.5

知っているものはない	13.6
(無回答)	11.0

窓口サービス拡大への要望は「土曜日、日曜日などの窓口開設」が4割台半ばを超え最も高い

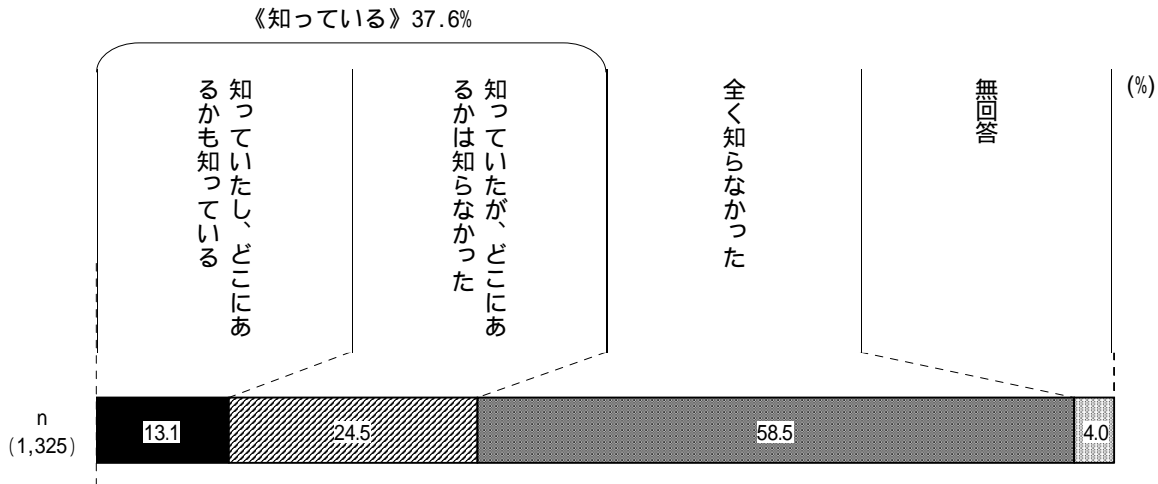
窓口サービスの拡大への要望は、「土曜日、日曜日などの窓口開設」が4割台半ばを超えて高くなっています。



11 高齢者相談

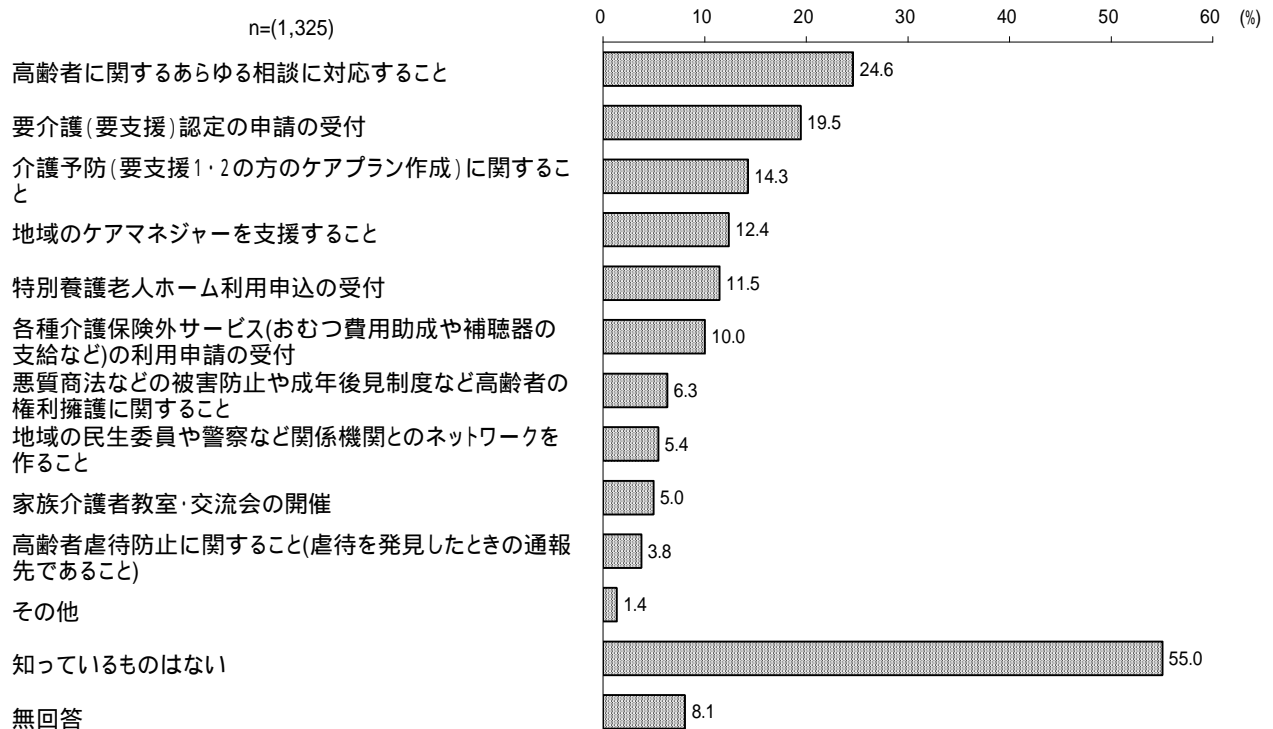
高齢者総合相談センターを《知っている》が3割台半ばを超える。一方、「全く知らなかった」が6割近く

高齢者相談センターの認知状況は、《知っている》が3割台半ばを超え、「全く知らなかった」が6割近くとなっています。



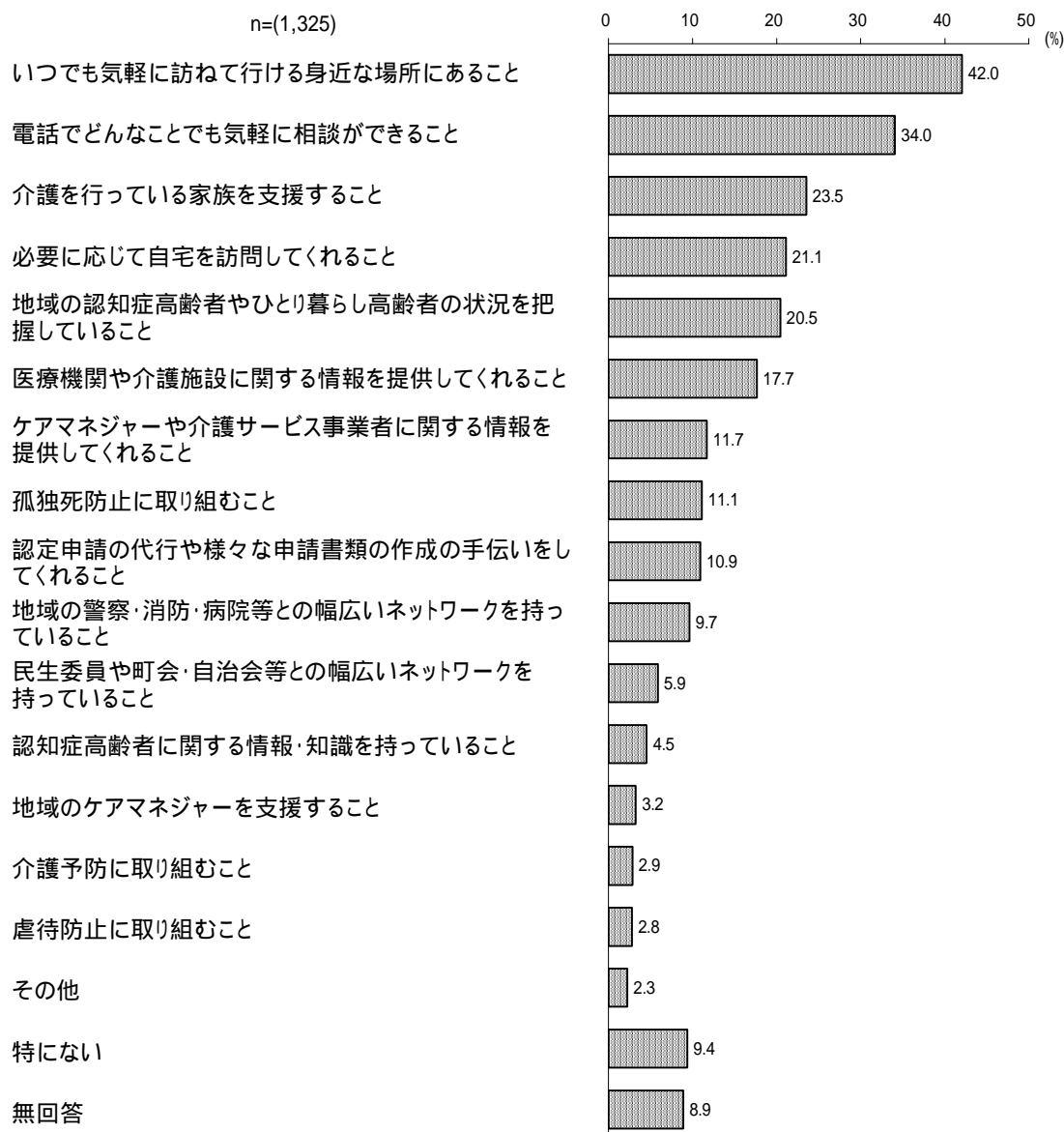
高齢者総合相談センターの業務で知っているものは、「高齢者に関するあらゆる相談に対応すること」が2割台半ば近くで最も高い

高齢者総合相談センターの業務で知っているものは、「高齢者に関するあらゆる相談に対応すること」が2割台半ば近くで最も高く、次いで、「要介護（要支援）認定の申請の受付」となっています。一方で、「知っているものはない」が5割台半ばとなっています。



高齢者総合相談センターに望むことは「いつでも気軽に訪ねて行ける身近な場所にあること」が4割強で最も高い

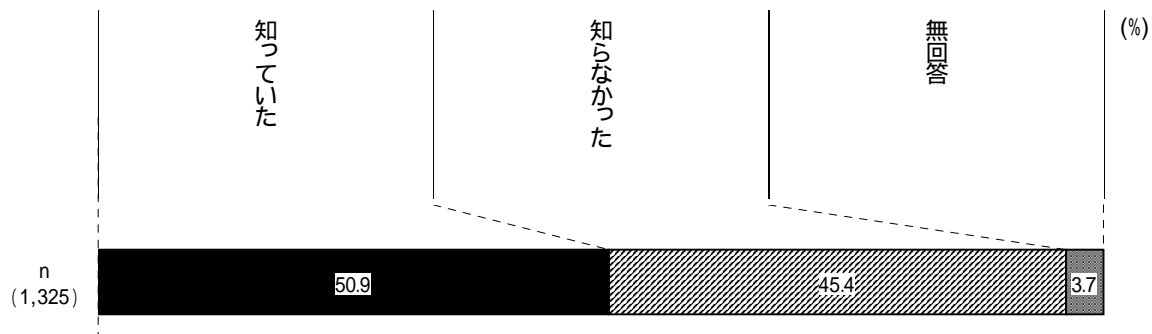
高齢者総合相談センターに望むことは、「いつでも気軽に訪ねて行ける身近な場所にあること」が4割強で最も高く、次いで、「電話でどんなことでも気軽に相談ができること」が3割台半ば近く、「介護を行っている家族を支援すること」となっています。



12 認知症になっても安心して暮せるまち

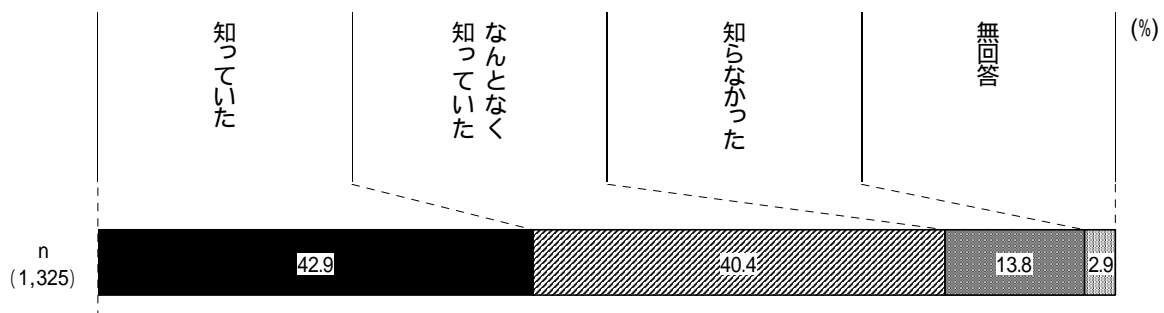
認知症に原因疾患があることを「知っていた」が約5割。一方、「知らなかった」が4割台半ば

認知症には原因疾患があることを、「知っていた」は約5割、「知らなかった」は4割台半ばとなっています。



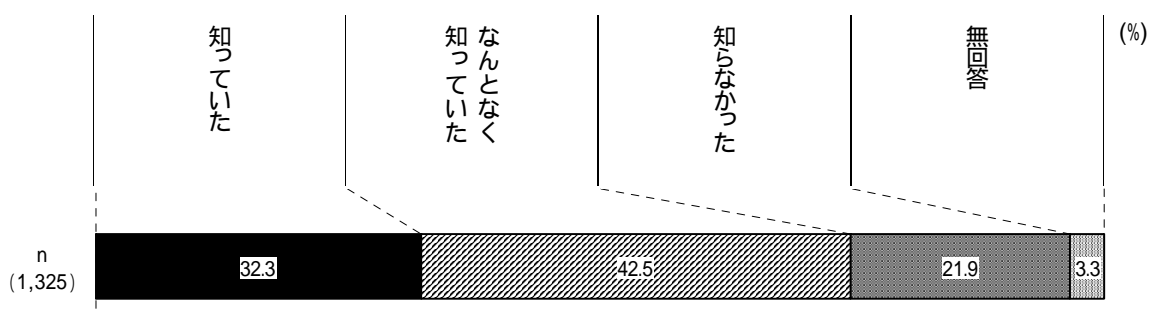
認知症に早期診断・早期治療が大切であることを「知っていた」が4割強

認知症は早期診断・早期治療が大切であることを、「知っていた」は4割強で最も高く、「なんとなく知っていた」は約4割となっています。



認知症が家族等の理解と対応で症状が和らぐことを「なんとなく知っていた」が4割強、「知っていた」が3割強

認知症が家族等の理解と対応で症状が和らぐことを、「知っていた」は3割強、「なんとなく知っていた」は4割強となっています。一方、「知らなかった」は2割強となっています。



詳しい結果が載っている「平成22年度 新宿区区民意識調査」の報告書は区政情報課、区政情報センター、区立図書館で閲覧できます。

また、区のホームページ <http://www.city.shinjuku.lg.jp>にも全文を掲載しています。

どうぞ、ご利用ください。

この印刷物は、業者委託により1,000部印刷製本しています。その経費として1部あたり105円(税込み)がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や、配送費等は含んでいません。

平成22年度 新宿区区民意識調査 要約版

印刷物作成番号

2010 - 17 - 2002

2011年(平成23年)3月発行

【発行】 新宿区区長室広聴担当課

〒160 - 8484 新宿区歌舞伎町1丁目4番1号

☎ 03(5273)4065(直通)

【実施】 (株)都市計画21

〒103 - 0013 中央区日本橋人形町1丁目6番10号

☎ 03(5623)6371

「新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。」